

平成 24 年度 セーフティネット支援対策等事業費補助金

社会福祉推進事業

東日本大震災後の要援護者の行動実態と
支援実態に関する調査・研究事業

調査票

学校法人梅檀学園 東北福祉大学

平成 25 年（2013）3 月

目次

社会福祉施設対象の調査票・・・・・・・・・・・・・・・・	1
訪問系事業所対象の調査票・・・・・・・・・・・・・・・・	7
自治体対象の調査票・・・・・・・・・・・・・・・・	13
要援護者の行動実態と支援実態に関する追跡調査票・・・・・・・・	21
地域包括支援センターと居宅介護支援事業所の行動実態に関する訪問調査票・・	36

東日本大震災後の要援護者の行動実態と支援実態に関する実態調査

I. 施設属性

質問 1 貴施設の種類を 1 つお選びください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1.介護老人福祉施設（質問 1-1 へ） | 2.介護老人保健施設(質問 1-1 へ) |
| 3.障害者支援施設（質問 1-2 へ） | 4.その他（ ） |

質問 1-1 貴施設の要介護度 3 以上の方の大まかな割合をご記入ください。約 _____ %

質問 1-2 貴施設の障害自立度 B1 以上の方の大まかな割合をご記入ください。約 _____ %

質問 2 貴施設の開設主体をお選びください。

- | | | | |
|----------|--------|-------|----------|
| 1.社会福祉法人 | 2.医療法人 | 3.自治体 | 4.その他（ ） |
|----------|--------|-------|----------|

質問 3 貴施設の定員(ショートステイを除く)をご記入ください。_____人

質問 4 貴施設の事業年数をご記入ください。(例：7 年 3 カ月→8 年目) _____年目

質問 5 貴施設の所在する県をお選びください。

質問 6 貴施設の所在する（2011 年 3 月 11 日時点）市町村の人口のうち、当てはまるものを 1 つお選びください。

- | | | |
|--------------------|--------------------|-------------------|
| 1. 5 千人未満 | 2. 5 千人以上 1 万人未満 | 3. 1 万人以上 2 万人未満 |
| 4. 2 万人以上 3 万人未満 | 5. 3 万人以上 5 万人未満 | 6. 5 万人以上 10 万人未満 |
| 7. 10 万人以上 20 万人未満 | 8. 20 万人以上 50 万人未満 | 9. 50 万人以上 |

II. 要援護者と職員の被災状況……本調査でいう、要援護者とは、貴施設内外を問わず、高齢者世帯、要介護者、障害者、難病患者、妊婦、5 歳未満の乳幼児、日本語に不慣れな外国人等、災害時に 1 人で避難が難しい住民を指します。

質問 7 貴施設では 3 月 11 日夕方時点において、建物の被害はございましたか。当てはまる方をお選びください。

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. あり（質問 7-1 へ） | 2. なし |
|-----------------|-------|

質問 7-1 貴施設の建物の、おおよその状況について、当てはまるものをすべてお選びください。
(複数回答可)

- | | | | | |
|------|---------|------|--------|----------|
| 1.全壊 | 2.大規模半壊 | 3.半壊 | 4.一部損壊 | 5.その他（ ） |
|------|---------|------|--------|----------|

質問 8 貴施設では 3 月 11 日夕方時点において、津波による被害はございましたか。
当てはまる方をお選びください。

- | | |
|----------------|-------|
| 1.あり（質問 8-1 へ） | 2. なし |
|----------------|-------|

質問 8-1 貴施設の建物の、おおよその状況について、当てはまるものをすべてお選びください。
(複数回答可)

- | | | | | | |
|------|---------|------|--------|--------|--------|
| 1.全壊 | 2.大規模半壊 | 3.半壊 | 4.一部損壊 | 5.床上浸水 | 6.床下浸水 |
|------|---------|------|--------|--------|--------|

質問 9 震災から半年程度経過後の段階における、貴施設の入居者の方の被災状況について、わかる範囲で構いませんので、当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|------------------|---------------|
| 1. 負傷（ ）人 | 2.全体的な健康状態悪化（ ）人 | 3.病気の罹患（ ）人 |
| 4. 病気の悪化（ ）人 | 5.要介護度悪化（ ）人 | 6.障害自立度悪化（ ）人 |
| 7. 関連死（ ）人 | 8.特になかった | 9.その他（ ）（ ）人 |

※人数は、実人数でお願いいたします

質問 10 貴施設の**職員の方で**、震災から半年後程度の段階での被災状況について、わかる範囲で構いませんので、当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- | | | |
|-------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. 負傷 (人) | 2. 全体的な健康状態悪化 (人) | 3. 病気の罹患 (人) |
| 4. 病気の悪化 (人) | 5. 特になかった | 6. その他 () (人) |

質問 11 貴施設では、何日目に外部から食糧や飲料水供給がございましたか。ご記入をお願いします。(ここでは、3月11日を1日目としていただくよう、お願いいたします。) _____ 日目

質問 12 貴施設では、何日目に電気が復旧されましたか。ご記入をお願いします。 _____ 日目

質問 13 貴施設では、何日目にガスが復旧されましたか。ご記入をお願いします。 _____ 日目

質問 14 貴施設では、何日目に水道が復旧されましたか。ご記入をお願いします。 _____ 日目

質問 15 貴施設では、実際に何日分の食糧と水分の備蓄がございましたか。また、今回と同等の災害が生じた場合、貴施設では何日分あれば十分とお考えでしょうか。ご記入をお願いいたします。 **食糧** 実際 _____ 日分 理想 _____ 日分 **水分** 実際 _____ 日分 理想 _____ 日分

Ⅲ.震災対応の見守り支援体制と実態

質問 16 貴施設あるいは貴法人内では、**震災前に**施設内で「緊急時の対応について」のマニュアルは整備されておられましたか。当てはまるものを1つお選びください。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 十分整備されていた(質問 16-1、2 へ) | 2. ある程度整備されていた(質問 16-1、2 へ) |
| 3. 整備されていなかった | |

質問 16-1 マニュアルに記載されていた内容は、どのようなものでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- | | | | |
|----------------------|------------------|----------------------|-------------|
| 1. 役割分担 | 2. 内部関係者間の連絡方法 | 3. 安否確認方法 | 4. 情報把握の方法 |
| 5. 他の機関との緊急時の対応確認 | 6. 無線等の備品の確認 | 7. 外部との連絡手段の確保 | |
| 8. 緊急連絡網の整備 | 9. 情報発信内容 | 10. 他施設からの入居者の受け入れ方法 | |
| 11. 他施設への入居者の移送方法 | 12. 職員招集方法 | 13. 職員派遣方法 | 14. 医療体制整備 |
| 15. 周辺住民の要援護者の受け入れ方法 | 16. ボランティアの受け入れ方 | 17. 避難場所・経路の確認 | |
| 18. 経管栄養剤の確保 | 19. 食糧供給の方法 | 20. 水分供給の方法 | 21. 電源供給の方法 |
| 22. ガスコンロ等の確保方法 | 23. 燃料確保方法 | 24. 日用品(おむつ・消毒液等)の確保 | 25. その他 |

質問 16-2 マニュアルに記載されていたが、うまく対応できなかった、あるいは課題があったと思われる項目は、どのようなものでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

選択肢は、質問 16-1 と同一です。

質問 17 貴施設では、震災前もしくは震災後に、他の機関との間で、緊急時等の連携対応をするための取り決め等はございましたか。当てはまるほうをお選びください。

- | | | |
|---------------------|------------------------|-----------|
| 1. あった(質問 17-1、2 へ) | 2. 震災後に連携(質問 17-1、2 へ) | 3. 震災後もなし |
|---------------------|------------------------|-----------|

質問 17-1 緊急時の対応等に関して、連携を想定、もしくは震災後に実際に連携した外部機関は、どのような機関でしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

- | | | | |
|------------------------|-----------------------|--------------------|------------------|
| 1.病院 | 2.診療所 | 3.貴法人系列の介護老人福祉施設 | 4.貴法人系列の介護老人保健施設 |
| 5.貴法人系列の障害者支援施設 | 6.他法人の介護老人福祉施設 | 7.他法人の介護老人保健施設 | |
| 8.他法人の障害者支援施設 | 9.地域包括支援センター | 10.貴法人系列の居宅介護支援事業所 | |
| 11.貴法人系列の他の居宅介護サービス事業所 | 12.貴法人系列の地域密着型サービス事業所 | | |
| 13.他法人の居宅介護支援事業所 | 14.他法人の他の居宅介護サービス事業所 | | |
| 15.他法人の地域密着型サービス事業所 | 16.自治会・町内会 | 17.社会福祉協議会 | 18.自治体 |
| 19.自衛隊 | 20.消防署 | 21.警察 | 22.その他 () |

質問 17-2 震災前後での連携の取り決めの内容は、どのようなものでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- | | | | |
|-------------------|----------------------|---------------------|----------------|
| 1.役割分担 | 2.双方間の連絡方法・無線等の備品の確認 | 3.安否確認方法 | 4.情報把握の方法 |
| 5.緊急連絡網の整備 | 6.情報発信内容 | 7.他施設等からの入居者の受け入れ方法 | |
| 8.他施設等からの入居者の移送方法 | 9.医療体制整備 | 10.周辺住民の要援護者の受け入れ方法 | |
| 11.ボランティアの受け入れ方法 | 12.避難場所・経路の確認 | 13.経管栄養剤の確保 | |
| 14.食糧供給の方法 | 15.水分供給の方法 | 16.電源供給の方法 | 17.ガスコンロ等の確保方法 |
| 18.燃料確保方法 | 19.日用品(おむつ・消毒液等)の確保 | 20.その他 () | |

質問 18 貴施設では、**震災後 1 週間以内に**、施設内外でどのような要援護者に対して安否確認や心身状態の把握等の見守り活動をされましたか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

- | | | |
|---|-------|-----------|
| 1.貴施設内に避難してきた要援護者(質問 18-1 へ) | | |
| 2.貴施設近隣在住の要援護者で、発災後に貴施設に来訪したが自宅生活の要援護者(質問 18-1 へ) | | |
| 3.発災後の貴施設への来訪はないが、近隣在住(自宅で生活)の要援護者(質問 18-1 へ) | | |
| 4.貴施設外の近隣の避難所の要援護者(質問 18-1 へ) | 5.未実施 | 6.その他 () |

質問 18-1 貴施設が上記のような活動をされるなかで、課題と感じられたことは何でしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

- | | | | | | |
|-----------------|-------------------------------|----------------|----------|--------|---------|
| 1.要援護者の食糧不足 | 2.要援護者の水分不足 | 3.要援護者の運動不足 | | | |
| 4.電力関連 | 5.ガス関連 | 6.水道関連 | 7.通信網関連 | 8.燃料関連 | 9.情報の錯綜 |
| 10.要援護者の病状悪化 | 11.要援護者の感染症 | 12.要援護者の要介護度悪化 | | | |
| 13.要援護者の障害自立度悪化 | 14.要援護者の健康状態悪化 | 15.職員の不足 | 16.職員の過労 | | |
| 17.職員の健康状態の悪化 | 18.提供されているサービスと要援護者のニーズのミスマッチ | | | | |
| 19.その他 () | | | | | |

質問 18-2 貴施設では、どのようにして上記のような問題を解決・克服されましたか。当てはまるものをすべてお選びください。

- | | | |
|-----------------------|------------------|-------------------|
| 1.他施設等からの食糧調達 | 2.他施設等からの飲料水調達 | 3.他施設等への職員派遣依頼 |
| 4.他施設等への入居者移送依頼 | 5.医療機関への入居者移送依頼 | 6.急性期医療チームの派遣依頼 |
| 7.慢性期医療チームの派遣依頼 | 8.食糧の 4 日以上 の 備蓄 | 9.飲料水の 4 日以上 の 備蓄 |
| 10.発電機を購入していた | 11.情報担当窓口の統一化 | 12.心のケア体制確立 |
| 13. ICT を活用した利用者情報の保存 | 14.貴施設の活動内容等の記録 | 15.その他 () |

IV.震災前後の要援護者支援体制について

質問 19 貴施設全体規模での防災訓練の頻度は、年何回程度でしょうか。大まかな回数をご記入ください。 年 _____ 回程度(質問 19-1、2、3 へ)

質問 19-1 貴施設では、平時より周辺他施設等、自治会・町内会等への訓練参加の呼びかけ等ございましたか。当てはまるほうをお選びください。 1. あった 2. なかった

質問 19-2 参加者について当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

1. 貴施設 2. 自治会・周辺住民 3. 入居者家族 4. 他施設・事業所 5. 自治体
6. 消防署 7. 未実施のため該当なし 8. その他 ()

質問 19-3 貴施設で訓練を活かすことのできなかった点、あるいは課題があると思われる点について、当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

1. 役割分担 2. 内部関係者間の連絡方法 3. 安否確認方法 4. 情報把握の方法
5. 他の機関との緊急時の対応確認 6. 無線等の備品の確認 7. 外部との連絡手段の確保
8. 緊急連絡網の整備 9. 情報発信内容 10. 他施設からの入居者の受け入れ方法
11. 他施設への入居者の移送方法 12. 職員招集方法 13. 職員派遣方法
14. 周辺住民の要援護者の受け入れ方法 15. 医療体制整備 16. ボランティアの受け入れ方法
17. 避難場所・経路の確認 18. 食糧供給の方法 19. 水分供給の方法 20. 電源供給の方法
21. ガスコンロ等の確保方法 22. 燃料確保方法 23. その他 ()

質問 20 貴施設では、**震災前の段階で**、震災直後および復興期にかけての経営計画を策定されておられましたか。当てはまるものを1つお選びください。

1. きちんと策定していた(質問 20-1、2 へ) 2. 一部策定(質問 20-1、2 へ) 3. 策定なし

質問 20-1 策定していた内容は、どのような項目のものだったでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

1. 担当責任者の決定 2. 組織の編成 3. 人的被害想定・確認体制 4. 緊急時人員配置
5. ライフライン被害想定・確認体制 8. 建物の被害想定・被害確認体制
10. 通信状態の想定・通信機器確保体制 11. 交通手段の想定 12. 避難・移動経路の想定
13. 入居者の心のケア体制 14. 職員の心のケア体制 15. 医療機関との支援協力関係の構築
16. 介護サービス事業者との支援協力関係の構築
17. 障害者福祉サービス事業者との支援協力関係の構築 18. ICT を活用した入居者情報の保存
19. 資金繰り計画 20. 風評被害対策 21. その他 ()

質問 20-2 策定されていた経営計画と実際の運用にあたって、乖離や課題があるとする、どのような点でしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

選択肢は、質問 20-1 と同一です。

V.震災後の他施設・自宅からの要援護者受け入れ実態

質問 21 貴施設では、他の施設との入居者の受け入れ・移送はございましたか。当てはまるものを1つお選びください。

1. 受け入れのみ(質問 21-1、2、3、4 へ) 2. 移送のみ(質問 21-1、2、3、4 へ)
3. どちらも(質問 21-1、2、3、4 へ) 4. どちらもない

質問 21-1 **震災後受け入れまたは移送された最大人数（ピーク時）の入居者の人数**をご記入ください。人数は、大まかなもので結構です。 受け入れ 人 移送 人

※どちらか一方の場合は、該当しない方を 0 人とご記入ください。以下同様です。

質問 21-2 最初に受け入れまたは移送されたのは、何日目でしょうか。ご記入をお願いいたします。（ここでは 3 月 11 日を 1 日目としていただくよう、お願いいたします。）

受け入れ 日目 移送 日目

※どちらか一方の場合は、該当しない方を 0 日目とご記入ください。

質問 21-3 受け入れまたは移送された入居者の方は、どのような方が多かったでしょうか。

主な方々で、当てはまるものをすべてお選びください。（複数回答可）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1.医療依存度の高い方 | 2.認知症（ランクⅢ以上）で寝たきりの方 |
| 3.認知症（ランクⅡ以下）で寝たきり | 4.認知症（ランクⅢ以上）で寝たきりでない方 |
| 5.認知症(ランクⅡ以下)で寝たきりでない方 | 6.日常生活自立度 B1 以上の方 |
| 7.日常生活自立度 A2 以下の方 | 8.要介護度 3 以上の方 |
| 9.要介護度 2 以下の方 | 10.その他（ ） |

質問 21-4 受け入れ元または移送先は、どういったところだったでしょうか。

当てはまるものをすべてお選びください。（複数選択可）

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1.貴法人系列の介護老人福祉施設(同市町村内) | 2.貴法人系列の介護老人福祉施設(同県内,1 以外) |
| 3.他法人の介護老人福祉施設(同市町村内) | 4.他法人の介護老人福祉施設(同県内,1 以外) |
| 5.県外の介護老人福祉施設 | 6.貴法人系列の介護老人保健施設(同市町村内) |
| 7.貴法人系列の介護老人保健施設(同県内,6 以外) | 8.貴法人系列外の介護老人保健施設(同市町村内) |
| 9.貴法人外の介護老人保健施設(同県内,6 以外) | 10.県外の介護老人保健施設 |
| 11.医療機関 | 12.県内の障害者支援施設 |
| 13.県外の障害者支援施設 | 14.その他（ ） |

質問 22 **他の施設等からの入居者の方**の受け入れの主な理由について、主なものを 1 つお選びください。お選びください。

- | | | |
|--------------|-------------------------|------------|
| 1.当該施設から直接申請 | 2.自治体からの依頼 | 3.貴施設から声掛け |
| 4. 原発の影響 | 5. 他施設等からの入居者の受け入れはなかった | 6.その他（ ） |

質問 23 **他の施設等に入居者の方**を移送した主な理由について、主なものを 1 つお選びください。

- | | | | |
|------------------|---------------|------------|------------|
| 1.建物が使用不可 | 2.入居者/家族からの要望 | 3.事業の廃止/休止 | 4.入居者の状態悪化 |
| 5.職員不足 | 6.施設内スペースの不足 | 7.原発の影響 | |
| 8. 他施設等への移送はなかった | 9.その他（ ） | | |

質問 24 貴施設は、東日本大震災以前より福祉避難所としての協定を結んでいらっしゃいましたか。当てはまる方を 1 つお選びください。

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 結んでいた | 2. 結んでいなかった |
|----------|-------------|

質問 25 貴施設では、今回の震災で福祉避難所を開設されましたか。当てはまる方をお選びください。

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1.開設した(質問 25-1 へ) | 2.開設はなかった |
|-------------------|-----------|

質問 25-1 福祉避難所は、どの程度機能したと思われますか。当てはまるものをお選びください。

- | | | | |
|-------------|-----------|--------------|-------------|
| 1.大変うまく機能した | 2.うまく機能した | 3.あまり機能しなかった | 4.全く機能しなかった |
|-------------|-----------|--------------|-------------|

質問 26 貴施設には、在宅の要援護者の方々が避難して来られましたか。**震災後 1 ヶ月間**で来られた人数の**最大人数（ピーク時）**について、おおまかな人数をご記入ください。 ____人

VI.震災後の施設職員の受け入れおよび派遣の実態

質問 27 貴施設では、他の施設等との職員の受け入れ・派遣はございましたか。当てはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1.受け入れのみ（質問 27-1、2、3 へ） | 2. 派遣のみ（質問 27-1、2、3 へ） |
| 3.どちらも（質問 27-1、2、3 へ） | 4. どちらもない |

質問 27-1 **震災後**受け入れまたは派遣された**最大の人数（ピーク時）の職員の人数**をご記入ください。人数は、大まかなものでも結構です。受け入れ 人 派遣 人

※どちらか一方の場合は、該当しない方を 0 人とご記入ください。以下同様です。

質問 27-2 最初に受け入れまたは派遣されたのは、何日目でしょうか。ご記入をお願いいたします。（ここでは3月11日を1日目としていただくよう、お願いいたします。）

受け入れ 日目 派遣 日目

質問 27-3 受け入れ元または派遣先は、どういったところだったでしょうか。

当てはまるものをすべてお選びください。（複数選択可）

- | | | |
|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 1.貴法人系列の介護老人福祉施設(同市町村内) | 2.貴法人系列の介護老人福祉施設(同県内,1 以外) | |
| 3.他法人の介護老人福祉施設(同市町村内) | 4.他法人の介護老人福祉施設(同県内,1 以外) | |
| 5.県外の介護老人福祉施設 | 6.貴法人系列の介護老人保健施設(同市町村内) | |
| 7.貴法人系列の介護老人保健施設(同県内,6 以外) | 8.貴法人系列外の介護老人保健施設(同市町村内) | |
| 9.貴法人外の介護老人保健施設(同県内,6 以外) | 10.県外の介護老人保健施設 | 11.医療機関 |
| 12.県内の障害者支援施設 | 13.県外の障害者支援施設 | 14.その他（ <u> </u> ） |

質問 28 受け入れまたは派遣された方々の職種について、当てはまるものをすべてお選びください。（複数選択可）

- | | | | | | |
|-----------|-------|------------------|-----------------------------|---------|-------|
| 1.ケアマネジャー | 2.相談員 | 3.ヘルパー | 4.理学療法士 | 5.作業療法士 | 6.保健師 |
| 7.看護師 | 8.医師 | 9.受け入れまたは派遣はなかった | 10.その他（ <u> </u> ） | | |

VII.今後の要援護者支援体制や要望

質問 29 貴施設の体験から、今後必要と考える災害時における要援護者の支援体制構築のための取り組みについて、当てはまるものをすべてお選びください。（複数選択可）

- | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1.食糧・飲料水の備蓄の増分 | 2. 発災後 2~3 時間で実施する事項の取り決め | |
| 3.要援護者移送手段の確保 | 4.要援護者移送ルートの確保体制 | 5.指定避難所の情報発信 |
| 6.避難所設置時の柔軟な対応 | 7.支援物資の配分の取り決め | 8.自治会・町内会との連携構築 |
| 9.施設入居者の要援護者の受け入れにおける対象区分の撤廃 | 10.平時からの自治体との情報交換 | |
| 11.福祉施設向けの BCP 策定要領等の提示 | 12.各省庁内の役割分担(権限と責任の明確化) | |
| 13.各省庁内の関連部署の情報の窓口統一化 | 14.官公庁・行政機関内の横断的対応 | |
| 15.義援金分配の取り決め | 16.平時からの他介護サービス施設・事業所との緊急時の対応取り決め | |
| 17.平時からの他の障害者支援施設との緊急時の対応の取り決め | | |
| 18.平時からの他の医療機関との緊急時の対応の取り決め | 19.慢性期医療の充実 | |
| 20.急性期医療の充実 | 21.医療ニーズとのマッチングシステムの構築 | 22.その他（ <u> </u> ） |

質問 30 自由記述です。今回の震災を受けて、貴施設で要援護者の支援体制について、うまくいった点やご苦労された点等について、何でも結構ですので、何かございましたらご記入ください。

○本調査は、厚生労働省「平成 24 年度セーフティネット支援対策等事業費補助金(社会福祉推進事業分)」の一環で実施されています。

ご多用のところ、ご協力いただき、ありがとうございました。

東日本大震災後の要援護者の行動実態と支援実態に関する実態調査

—訪問系事業所調査—

I. 施設属性

質問 1 貴事業所の種類を 1 つお選びください。

1. 訪問介護事業所 (質問 1-1、2 へ) 2. 訪問看護事業所 (質問 1-1、2 へ)

質問 1-1 貴事業所の現在の利用者のうち要介護度 3 以上の方の大まかな割合を
ご記入ください。 _____ %

質問 1-2 一番遠いところに居住している利用者宅までの距離をご記入ください。 約 _____ km

質問 2 貴事業所の開設主体をお選びください。

1. 社会福祉法人 2. 医療法人 3. 営利法人 4. NPO 法人 5. その他 ()

質問 3 貴事業所の事業年数をご記入ください。(例: 7 年 3 カ月→8 年目) _____ 年目

質問 4 貴事業所の所在する県をお選びください。

質問 5 貴事業所の所在する (2011 年 3 月 11 日時点) 市町村の人口のうち、当てはまる
ものを 1 つお選びください。

1. 5 千人未満 2. 5 千人以上 1 万人未満 3. 1 万人以上 2 万人未満
4. 2 万人以上 3 万人未満 5. 3 万人以上 5 万人未満 6. 5 万人以上 10 万人未満
7. 10 万人以上 20 万人未満 8. 20 万人以上 50 万人未満 9. 50 万人以上

質問 6 貴事業所の震災直前に登録していた利用者の実人数をご記入ください。 _____ 人

II. 要援護者と職員の被災状況と対応……本調査でいう、要援護者とは、貴事業所内外を
問わず、高齢者世帯、要介護者、障害者、難病患者、
妊婦、5 歳未満の乳幼児、日本語に不慣れな外国人等、
災害時に 1 人で避難が難しい住民を指します。

質問 7 貴事業所では 3 月 11 日以降において、東日本大震災による建物の被害はございました
か。当てはまる方をお選びください。

1. あり (質問 7-1 へ) 2. なし

質問 7-1 貴事業所の建物の被害状況について、当てはまるものをすべてお選びください。

(複数回答可)

1. 全壊 2. 大規模半壊 3. 半壊 4. 一部損壊 5. その他 ()

質問 8 貴事業所では 3 月 11 日夕方時点において、津波による被害はございましたか。

当てはまる方をお選びください。 1. あり (質問 8-1 へ) 2. なし

質問 8-1 貴事業所の建物の被害状況について、当てはまるものをすべてお選びください。

(複数回答可)

1. 全壊 2. 大規模半壊 3. 半壊 4. 一部損壊 5. 床上浸水 6. 床下浸水

質問 9 震災から半年程度経過後の段階における、貴事業所の利用者の方の被災状況について、
わかる範囲で構いませんので、当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

1. 負傷 (人) 2. 全体的な健康状態悪化 (人) 3. 病気の罹患 (人)
4. 病気の悪化 (人) 5. 要介護度悪化 (人) 6. 行方不明 (人) 7. 関連死 (人)
8. 特になかった 9. その他 () (人) ※人数は、実人数でお願いいたします

質問 10 貴事業所の**職員の方で**、震災から半年後程度の段階での被災状況について、わかる範囲で構いませんので、当てはまるものをすべてお選びください。**(複数回答可)**

- | | | |
|-----------------------|--------------------------|------------------|
| 1. 負傷 (人) | 2. 全体的な健康状態悪化 (人) | 3. 病気の罹患 (人) |
| 4. 病気の悪化 (人) | 5. 行方不明 (人) | 6. 関連死 (人) |
| 7. その他 () (人) | ※人数は、実人数でお願いいたします | |

質問 11 貴事業所では、東日本大震災の影響によるライフラインの何らかの損傷はございましたか。当てはまる方をお選びください。

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. あった (質問 11-1~4 へ) | 2. なかった |
|----------------------|---------|

質問 11-1 貴事業所では、何日目に外部から食糧や飲料水供給がございましたか。ご記入をお願いします。(ここでは、3 月 11 日を 1 日目としていただくよう、お願いいたします。) ____ 日目

質問 11-2 貴事業所では、何日目に電気が復旧されましたか。ご記入をお願いします。 ____ 日目

質問 11-3 貴事業所では、何日目にガスが復旧されましたか。ご記入をお願いします。 ____ 日目

質問 11-4 貴事業所では、何日目に水道が復旧されましたか。ご記入をお願いします。
(上水、下水のうち、遅かった方のご記入をお願いいたします) ____ 日目

質問 12 貴事業所では、実際に何日分の食糧と水分の備蓄がございましたか。また、今回と同等の災害が生じた場合、貴施設では何日分あれば必要最小限とお考えでしょうか。ご記入をお願いします。 **食糧** 実際 ____ 日分 理想 ____ 日分 **飲料水** 実際 ____ 日分 理想 ____ 日分

質問 13 貴事業所では、**震災後 1 週間以内に**、どのような要援護者に対して安否確認や心身状態の把握等の見守り活動をされましたか。当てはまるものをすべてお選びください。

(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. 貴事業所の利用者 (質問 13-1、2 へ) | 2. 貴事業所の利用者自宅近隣の方 (質問 13-1、2 へ) |
| 3. 貴事業所近隣在住の方 (質問 13-1、2 へ) | 4. 避難所の方 (質問 13-1、2 へ) |
| 5. 未実施 | 6. その他 () |

質問 13-1 貴事業所が上記のような活動をされるなかで、課題と感じられたことは何でしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。**(複数選択可)**

- | | | |
|--------------------------------|-----------------|-------------------|
| 1. 地域の要援護者のリスト | 2. 要援護者の安否確認の方法 | 3. 避難所の情報 |
| 4. 要援護者の食糧不足 | 5. 要援護者の水分不足 | 6. 電力関連 |
| 7. ガス関連 | 8. 水道関連 | 9. 通信網関連 |
| 10. 燃料関連 | 11. 要援護者の病状悪化 | 12. 要援護者の感染症 |
| 13. 要援護者の運動不足 | 14. 要援護者の要介護度悪化 | 15. 要援護者の健康状態悪化 |
| 16. 事業所内部の連絡体制 | 17. 事業所外部との連絡体制 | 18. 職員の不足 |
| 19. 職員の過労 | 20. 職員の健康状態の悪化 | 21. 自治体担当者の質 |
| 22. 提供されているサービスと要援護者のニーズのミスマッチ | 23. 優先車両としての扱い | 24. 要援護者の医療機関への移送 |
| 25. 要援護者の福祉施設への移送 | 26. 福祉施設の情報 | 27. 医療機関の情報 |
| 28. その他 () | | |

質問 13-2 貴事業所では、どのようにして上記のような問題を解決・克服されましたか。

当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- | | | |
|------------------------|--------------------------|-----------------|
| 1.他事業所等からの食糧調達 | 2.他事業所等からの飲料水調達 | 3.他事業所等への職員派遣依頼 |
| 4.他施設・事業所等への利用者・患者移送依頼 | 5.医療機関への利用者・患者移送依頼 | |
| 6.食糧の4日以上備蓄 | 7.飲料水の4日以上備蓄 | 8.衛星回線経由の無線等確保 |
| 9.発電機の購入 | 10.情報担当窓口の統一化 | 11.心のケア体制確立 |
| 12.ICTを活用した要援護者情報の保存 | 13.ガソリンスタンド等と優先供給の事前協定締結 | |
| 14.貴事業所の活動内容等の記録 | 15.他事業所等との情報交換 | 16.医療機関との情報交換 |
| 17.自治体との情報交換 | 18.自治会・町内会等との情報交換 | 19.その他 () |

Ⅲ.震災対応の連携支援体制と実態

質問 14 震災前に事業所内で「緊急時の対応について」のマニュアルは整備されておられましたか。当てはまるものを1つお選びください。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 十分整備されていた(質問 14-1、2 へ) | 2. ある程度整備されていた(質問 14-1、2 へ) |
| 3. 整備されていなかった | |

質問 14-1 マニュアルに記載されていた内容は、どのようなものでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- | | | | |
|---------------------------|--------------------------|------------------|-----------|
| 1.事業所内の役割分担 | 2.内部関係者間の連絡方法 | 3.安否確認方法 | 4.情報把握の方法 |
| 5.他の施設・病院・事業所との緊急時の対応確認方法 | 6.自治体との緊急時の対応確認方法 | | |
| 7. 周辺住民の要援護者の受け入れ | 8. 無線等の連絡手段の確認・確保 | | |
| 9. 情報システム動作確認 | 10. 緊急連絡網の整備 | 11. 情報発信内容 | |
| 12. 利用者・患者への対応 | 13.利用者・患者の移送 | 14.職員招集方法 | |
| 15.職員不足への対応 | 16.医療・介護機器等の動作確認 | 15.医療・介護機器損傷への対応 | |
| 16. 避難場所・経路の確認 | 17. ボランティアの受け入れ | 18. 感染症対策 | |
| 19. 経管栄養剤の確保 | 20. 食糧確保の方法 | 21. 水確保の方法 | |
| 22. 電源確保の方法 | 23. 医薬品の確保方法 | 24. ガスコンロ等の確保方法 | |
| 25. 燃料確保方法 | 26. 日用品(マスク・消毒液・おむつ等)の確保 | | |
| 27. BCP への対応 | 28. その他 () | | |

質問 14-2 マニュアルに記載されていたが、うまく対応できなかった、あるいは課題があったと思われる項目は、どのようなものでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

選択肢は、質問 14-1 と同一です。

質問 15 貴事業所では、震災前に他の機関との間で、緊急時等の連携対応をするための取り決め等はございましたか。当てはまるものをお選びください。

- | | | |
|------------------------|-------------------------|----------|
| 1.あった(質問 15-1、2、3、4 へ) | 2.震災後に連携(質問 15-2、3、4 へ) | 3.震災後もなし |
|------------------------|-------------------------|----------|

質問 15-1 緊急時の対応等に関して、連携を**想定・予定**していた外部機関は、どのような機関でしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。**(複数選択可)**

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. 貴系列の介護老人福祉施設 | 2. 貴系列の介護老人保健施設 | 3. 他の介護老人福祉施設 |
| 4. 他の介護老人保健施設 | 5. 貴系列の介護療養型医療施設 | 6. 他の介護療養型医療施設 |
| 7. 貴系列の居宅介護支援事業所 | 8. 他の居宅介護支援事業所 | |
| 9. 貴系列の介護サービス事業所 | 10. 他の介護サービス事業所 | 11. 他の地域包括支援センター |
| 12. 貴系列の病院 | 13. 他の病院 | 14. 診療所 |
| 15. 自治会・町内会 | | |
| 16. 社会福祉協議会 | 17. 自治体 | 18. ボランティア団体 |
| 19. 自衛隊 | | |
| 20. 消防署 | 21. 警察 | 22. ガソリンスタンド |
| 23. その他 () | | |

質問 15-2 震災後に**実際**に連携した外部機関をお選びください。**(複数選択可)**

⇒選択肢は、質問 15-1 と同一です。

質問 15-3 震災前後での連携の取り決めの内容は、どのようなものでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。**(複数回答可)**

- | | | |
|-----------------------------------|--------------------------|------------------|
| 1. 機能連携・分担 | 2. 双方間の連絡方法・無線等の備品の確認・確保 | 3. 情報担当窓口の統一化 |
| 4. 緊急連絡網の整備 | 5. 情報発信内容 | 6. 利用者・患者への対応 |
| 7. 利用者・患者の移送 | 8. 職員不足への対応 | 9. 利用者・患者診療情報の共有 |
| 10. 避難場所・経路 | 11. 周辺住民の要援護者の受け入れ | 12. 感染症対策 |
| 13. ボランティアの受け入れ方針統一 | 14. 経管栄養剤供給の優先的補完関係締結 | |
| 15. 食糧供給の優先的補完関係締結 | 16. 飲料水供給の優先的補完関係締結 | |
| 17. 医薬品供給の優先的補完関係締結 | 18. 燃料供給の優先的補完関係締結 | |
| 19. 日用品（マスク・消毒液・おむつ等）供給の優先的補完関係締結 | | |
| 20. 心のケア体制確立 | 21. その他 () | |

質問 15-4 貴事業所と連携機関との間における課題は、どのようなものだったでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。**(複数選択可)**

選択肢は、質問 15-3 と同一です。

IV. 震災前後の要援護者支援体制について

質問 16 貴事業所では、平時より周辺他施設等、自治会・町内会等との情報交換等はいかがでしょうか。当てはまるほうをお選びください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
|--------|---------|

質問 17 貴事業所では、**震災前の段階で**、震災直後および復興期にかけての経営計画（BCP）を策定されておられましたか。当てはまるものを1つお選びください。

- | | | |
|----------------------------|----------------------|---------|
| 1. きちんと策定していた（質問 17-1、2 へ） | 2. 一部策定（質問 17-1、2 へ） | 3. 策定なし |
|----------------------------|----------------------|---------|

質問 17-1 策定していた内容は、どのような項目のものだったでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

- | | | |
|----------------------------|--------------------------|------------|
| 1.利用者・患者へ対応・安否確認 | 2.担当責任者の決定 | 3.組織の編成 |
| 4. 事業所（利用者・職員）の人的被害想定・対応体制 | 5. 緊急時人員配置 | |
| 6.ライフライン被害想定・対応体制 | 7.建物の被害想定・被害対応体制 | |
| 8.通信状態の想定・通信機器対応体制 | 9. 交通手段 | 10.避難・移動経路 |
| 11.利用者・患者の心のケア体制 | 12 職員の心のケア体制 | 13.感染症対策 |
| 14.医療機関との支援協力関係の構築 | 15.介護サービス事業者との支援協力関係の構築 | |
| 16.利用者・患者診療情報の連携施設・病院との共有 | | |
| 17. ICT を活用した利用者・患者情報の保存 | 18.資金繰り計画 | 19.風評被害対策 |
| 20.介護用品の確保 | 21.ガソリンスタンド等と優先供給の事前協定締結 | 22.その他（ ） |

質問 17-2 策定されていた経営計画と実際の運用にあたって、乖離や課題があるとする、どのような点でしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

選択肢は、質問 17-1 と同一です。

V.今後の要援護者支援体制や要望

質問 18 貴事業所の体験から、今後必要と考える災害時における要援護者・職員の支援体制構築のために必要な取り組みについて、当てはまるものをすべてお選びください。

(複数選択可)

- | | | |
|------------------------------|---------------------|--------------------------|
| 1. 食糧・飲料水の備蓄の増分 | 2.ライフライン被害想定・対応体制整備 | 3. 食糧確保方法確認 |
| 4. 飲料水確保方法確認 | 5. 燃料確保体制整備 | 6. 非常用電源の確認・復旧対応体制整備 |
| 7. 受水槽・井戸等の整備 | 8. 経管栄養剤の確保方法確認 | 9.建物の被害想定・被害対応体制整備 |
| 10. 日用品（マスク・消毒液・おむつ等）の確保方法確認 | 11. 担当責任者の決定 | |
| 12. 事業所内組織の構築 | 13. 衛星回線利用の通信手段確保 | 14. 情報把握の方法確認 |
| 15. 緊急連絡網の整備 | 16. 情報担当窓口の統一 | 17. ICT を活用した利用者・患者情報の保存 |
| 18. 情報システムの動作確認・復旧対応体制整備 | 19. 要援護者リスト作成 | |
| 21. 要援護者への安否確認方法の決定 | 22. 利用者・患者の移送方法確認 | 23.職員の安否確認 |
| 24. 地域内の福祉避難所の把握 | 25. 避難場所・経路の確認 | 26. 避難所への巡回 |
| 27. 在宅要援護者の把握 | 28. 感染症対策 | 29. 事業所の人的被害想定・対応体制整備 |
| 30. 心のケア体制確立 | 31. BCP の策定 | 32. ボランティアの受け入れ方針決定 |
| 33. 電気 or ハイブリッド車購入 | 34. その他（ ） | |

質問 19 貴事業所の体験から、今後必要と考える災害時における連携体制構築のために必要な取り組みについて、当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1. 平時からの病院との緊急時の対応の取り決め | |
| 2. 平時からの地元開業医との緊急時の対応の取り決め | |
| 3. 平時からの周辺施設・事業所との緊急時の対応取り決め | |
| 4. 平時からの地域包括支援センターとの緊急時の対応取り決め | |
| 5. 平時からのボランティア団体との緊急時の対応取り決め | |
| 6. 平時からの自治会・町内会との緊急時の対応取り決め | |
| 7. 平時からの自治体との緊急時の対応取り決め | |
| 8. 平時からの消防署との緊急時の対応取り決め | |
| 9. 利用者・患者診療情報の連携施設・病院との共有 | |
| 10. 周辺施設・事業所との緊急時の担当地区分担 | |
| 11. 地域包括支援センターとの緊急時の担当地区分担 | |
| 12. 周辺施設・事業所との要援護者リスト作成・共有 | |
| 13. 自治体との要援護者リスト作成・共有 | |
| 14. 自治会・町内会との要援護者リストの作成・共有 | |
| 15. 民生委員との要援護者リストの作成・共有 | 16. 経管栄養剤供給の優先的補完関係締結 |
| 17. 食糧供給の優先的補完関係締結 | 18. 飲料水供給の優先的補完関係締結 |
| 19. 日用品（マスク・消毒液・おむつ等）供給の優先的補完関係締結 | |
| 20. 燃料供給の優先的補完関係締結 | 21. その他（ ） |

質問 20 自由記述です。今回の震災を受けて、貴事業所で要援護者の支援体制について、うまくいった点やご苦勞された点等について、何でも結構ですので、何かございましたらご記入ください。

○本調査は、厚生労働省「平成 24 年度セーフティネット支援対策等事業費補助金(社会福祉推進事業分)」調査責任者:関田康慶 東北福祉大学健康科学部教授の一環で実施されています。

ご多用のところ、ご協力いただき、ありがとうございました。

東日本大震災後の要援護者の行動実態と支援実態に関する実態調査

—自治体調査—

I.自治体属性

質問1 貴自治体の人口規模について、当てはまるものを1つお選びください。

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| 1. 5千人未満 | 2. 5千人以上1万人未満 | 3. 1万人以上2万人未満 |
| 4. 2万人以上3万人未満 | 5. 3万人以上5万人未満 | 6. 5万人以上10万人未満 |
| 7. 10万人以上20万人未満 | 8. 20万人以上50万人未満 | 9. 50万人以上 |

質問2 貴自治体の人口密度

質問3 貴自治体の高齢化率

質問4 貴自治体の要介護認定率

質問5 貴自治体には、自治会・町内会はいくつございますか。

質問6 貴自治体には、中学校区はいくつございますか。

質問7 貴自治体には、海に面しているところがございますか。

当てはまるほうをお選びください。

1.ある 2.ない

質問8 震災当日時点での貴自治体の本庁舎の免震および耐震性について

当てはまるものをお選びください。(複数回答可)

- | | | |
|-------------------|-------------------|-----------|
| 1. 免震性がある(質問8-1へ) | 2. 耐震性がある(質問8-2へ) | 3. どちらもない |
|-------------------|-------------------|-----------|

質問8-1 免震性のある建物について当てはまるほうをお選びください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. すべての建物 | 2. 一部の建物 |
|-----------|----------|

質問8-2 耐震性のある建物について当てはまるほうをお選びください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. すべての建物 | 2. 一部の建物 |
|-----------|----------|

質問9 貴自治体の所在する都道府県をお選びください。

II.住民と職員の被災状況……

本調査でいう、要援護者とは、高齢者世帯、要介護者、障害者、難病患者、妊婦、5歳未満の乳幼児、日本語に不慣れな外国人等、災害時に1人で避難が難しい住民を指します。

質問10 貴自治体では3月11日以降において、東日本大震災による本庁舎の被害はございましたか。当てはまる方をお選びください。

- | | |
|----------------|-------|
| 1. あり(質問10-1へ) | 2. なし |
|----------------|-------|

質問10-1 貴自治体の本庁舎の、おおよその状況について、

当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- | | | | | |
|------|---------|------|--------|----------|
| 1.全壊 | 2.大規模半壊 | 3.半壊 | 4.一部損壊 | 5.その他() |
|------|---------|------|--------|----------|

質問11 貴自治体では3月11日夕方時点において、津波による本庁舎への被害はございましたか。当てはまる方をお選びください。

- | | |
|---------------|-------|
| 1.あり(質問11-1へ) | 2. なし |
|---------------|-------|

質問11-1 貴自治体の本庁舎の、おおよその状況について、

当てはまるものをすべて選びください。(複数回答可)

- | | | | | | |
|------|---------|------|--------|--------|--------|
| 1.全壊 | 2.大規模半壊 | 3.半壊 | 4.一部損壊 | 5.床上浸水 | 6.床下浸水 |
|------|---------|------|--------|--------|--------|

質問 12 東日本大震災における、貴自治体の住民の被災状況について、

わかる範囲で構いませんので、当てはまるものをすべて選び、人数をご記入ください。

(複数回答可)

- | | | |
|---------------|-----------------------|--------------------------|
| 1. 負傷 (人) | 2. 死者・関連死 (人) | 3. 行方不明 (人) |
| 4. 特になかった | 5. その他 () (人) | ※人数は、実人数でお願いいたします |

質問 13 東日本大震災における、貴自治体の職員の方の被災状況について、わかる範囲で

構いませんので、当てはまるものをすべて選び、人数をご記入ください。

(複数回答可)

- | | | | |
|---------------|-----------------------|--------------------------|-----------------|
| 1. 負傷 (人) | 2. PTSD (人) | 3. 死者・関連死 (人) | 4. 行方不明 (人) |
| 5. 特になかった | 6. その他 () (人) | ※人数は、実人数でお願いいたします | |

質問 14 貴自治体の本庁舎では、東日本大震災の影響によるライフラインの何らかの損傷はございましたか。当てはまる方をお選びください。

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. あった (質問 14-1~4 へ) | 2. なかった |
|----------------------|---------|

質問 14-1 何日目に外部から食糧や飲料水供給がございましたか。ご記入をお願いします。

(ここでは、3月11日を1日目としていただくよう、お願いいたします。) _____ 日目

質問 14-2 何日目に電気が復旧されましたか。ご記入をお願いします。

_____ 日目

質問 14-3 何日目にガスが復旧されましたか。ご記入をお願いします。

_____ 日目

質問 14-4 何日目に水道が復旧されましたか。ご記入をお願いします。

(上水、下水のうち、遅かった方のご記入をお願いいたします) _____ 日目

質問 15 貴自治体では、実際に何日分の食糧と飲料水の備蓄がございましたか。また、今回と同等の災害が生じた場合、何日分あれば必要最小限とお考えでしょうか。ご記入をお願いいたします。

食糧 実際 _____ 日分 理想 _____ 日分 **飲料水** 実際 _____ 日分 理想 _____ 日分

Ⅲ.震災対応と協定体制

質問 16 貴自治体では、要援護者の名簿リストを作成されておられましたか。

当てはまるものを1つお選びください。

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 震災前からしていた (質問 16-1~5 へ) | 2. 震災後に作成 (質問 16-1~5 へ) |
| 3. 震災後もしていない (質問 16-5 へ) | |

質問 16-1 実際にどの程度役に立ちましたか。当てはまるものを1つお選びください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1.役に立った | 2. どちらかといえば役に立った |
| 3.どちらかといえば役に立たなかった | 4.役に立たなかった |

質問 16-2 どのような方式で要援護者情報を収集されましたか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

- | | | | |
|------------|----------|---------|---------------|
| 1.関係機関共有方式 | 2. 手上げ方式 | 3. 同意方式 | 4. その他 () |
|------------|----------|---------|---------------|

質問 16-3 リストを作成する過程で、主にどのような方々が中心となられましたか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

- | | | | | |
|---------------|-------------|----------------|----------------|----------|
| 1.福祉関係部局 | 2.災害・防災等関連局 | 3. 要援護者 (家族含む) | 4. 自治会・町内会長 | |
| 5. 町内会・自治会の方 | 6. 消防署員 | 7. 社会福祉協議会 | 8. 民生委員 | 9. 児童相談員 |
| 10. ケアマネジャー | 11.社会福祉士 | 12. 地元の消防団等 | 13. 関連団体 | |
| 14.地域包括支援センター | 15.ボランティア団体 | 16. 警察署員 | 17. その他 () | |

質問 16-4 どのようなところと要援護者情報を共有されていますか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

- | | | | |
|---------------|--------------|-------------|---------------|
| 1.福祉関係部局 | 2.災害・防災等関連局 | 3. 自治会・町内会長 | 4. 町内会・自治会の方 |
| 5. 消防署 | 6.社会福祉協議会 | 7.民生委員 | 8. 児童相談員 |
| 9.ケアマネジャー | 10. 社会福祉士 | 11. 地元の消防団等 | 12. 関連団体 |
| 13.地域包括支援センター | 14. ボランティア団体 | 15. 警察署 | 16. 特に共有していない |
| 17. その他 () | | | |

質問 16-5 自由記述です。要援護者リスト作成時の課題について、何かあればご記入ください。

質問 17 貴自治体で震災時に要援護者を支援するために活用されたた通信手段について固定・携帯電話(普通回線)以外で当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- | | | | |
|----------------|----------------|------------|-------------|
| 1. 防災行政無線(同報系) | 2. 防災行政無線(移動系) | 3.衛星電話 | 4. 衛星携帯電話 |
| 5. Twitter | 6.facebook | 7. 電子メール | 8. 携帯メール |
| 9. 貴自治体ホームページ | 10. 災害伝言ダイヤル | 11. 災害用伝言版 | 12. 災害時優先電話 |
| 13.公衆電話 | 14.その他 | | |

質問 18 貴自治体では、震災前に「緊急時の対応について」のマニュアルは整備されておられましたか。当てはまるものを1つお選びください。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 十分整備されていた(質問 18-1、2 へ) | 2. ある程度整備されていた(質問 18-1、2 へ) |
| 3. 震災後に十分整備(質問 18-1 へ) | 4.震災後にある程度整備(質問 18-1 へ) |
| 5.震災後も整備されていない | |

質問 18-1 要援護者支援に関して、マニュアルに記載されている内容は、どのようなものでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- | | | |
|----------------------|-------------------------------|--------------------|
| 1.担当部局間の役割分担 | 2.担当部局間の情報窓口統一 | 3. 対策本部、担当部局間の連絡方法 |
| 4.情報把握の方法 | 5.出先機関との緊急時の対応確認 | 6.無線等の連絡手段の確認・確保 |
| 7.緊急通報システム動作確認 | 8.緊急連絡網の整備 | 9.災害時要援護者班の設置方法 |
| 10.福祉施設等との連絡 | 11.医療機関との連絡 | 12.都道府県庁との連絡 |
| 13.要援護者リストの作成 | 14.要援護者の対象基準の決定 | 15. 要援護者の安否確認方法 |
| 16. 要援護者の避難支援者の確保 | 17. 避難場所確保方法 | 18. 要援護者リストの取扱 |
| 19.住民の誘導方法 | 20.職員参集方法 | 21.職員不足への対応 |
| 22.避難所での名簿作成 | 23.要援護者への対応 | 24.心のケア体制整備 |
| 25.避難所でのパーテーション等設置方法 | 26. 医療支援チーム(DMAT,JMAT 等)の受け入れ | 27.医療ボランティアの受け入れ |
| 28.ハザードマップの作成 | 29.感染症対策 | 30.マスコミ対策 |
| 31.救援物資の仕分け・配送体制 | 32. 経管栄養剤確保の方法 | 33. 食糧確保の方法 |
| 34. 飲料水確保の方法 | 35.非常用電源確保の方法 | 36.ガスコンロ等の確保方法 |
| 37.燃料確保方法 | 38.日用品(マスク・消毒液等)の確保 | 39.その他() |

質問 18-2 マニュアルに記載されていたが、うまく対応できなかった、あるいは課題があったと思われる項目は、どのようなものでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

⇒選択肢は、質問 18-1 と同一です。

質問 19 貴自治体では、震災前の段階で、他の自治体との緊急時の対応に関する事前協定等はいかがでしょうか。

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1.震災前からあった(質問 19-1、2、3 へ) | 2. 震災後に締結(質問 19-2、3 へ) |
| 3.震災後もなし | |

質問 19-1 事前協定は、何か所の自治体と結んでおられましたか。また、実際に実行した自治体数もご記入ください。協定を結んでいた自治体数 _____ 実行した自治体数 _____

質問 19-2 事前協定等を結んでいた自治体は、どのようなところだったでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 都道府県内の他自治体 | 2. 隣接している都道府県の自治体 |
| 3. 隣接していない都道府県の自治体 | 4. その他 () |

質問 19-3 震災後に実際に協定を締結した自治体または協定内容が実行された自治体をお選びください。(複数選択可)

⇒選択肢は、質問 19-2 と同一です。

質問 20 震災前後での協定の内容は、どのようなものでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。協定を結ばれていない場合は「26」のみをお選びください。(複数回答可)

- | | |
|---|--------------------|
| 1. 食糧供給の優先的補完関係締結 | 2. 飲料水供給の優先的補完関係締結 |
| 3. 燃料の優先的供給の協定締結 | 4. 医薬品供給の優先的補完関係締結 |
| 5. 日用品（マスク・消毒液等）供給の優先的補完関係締結 | |
| 6. 介護保険サービス利用者移転時の負担に関する取り決め | |
| 7. 相互の業務ごとの情報窓口の統一化体制確立 | |
| 8. 双方間の連絡方法・無線等の備品の確認・確保 | |
| 9. 平時からの自治体内の介護サービス事業所との震災対応に関する情報交換と連携 | |
| 10. 平時からの自治体内の介護保険施設との震災対応に関する情報交換と連携 | |
| 11. 平時からの自治体内の医療機関との震災対応に関する情報交換と連携 | |
| 12. 平時からの自治体外の医療機関との震災対応に関する情報交換と連携 | |
| 13. 平時からの地域包括支援センターとの情報交換と連携 | |
| 14. 平時からの自治会・町内会との震災対応に関する情報交換と連携 | |
| 15. 平時からの他の自治体との震災対応に関する情報交換と連携 | |
| 16. 医療支援チーム（DMAT, JMAT 等）の受け入れ方針統一 | |
| 17. 医療ボランティアの受け入れ方針統一 | |
| 18. 要援護者リスト、リスト外の要援護者情報共有 | |
| 19. 衛星回線利用の通信手段の複数確保 | |
| 20. 支援職員受け入れ | 21. 支援職員派遣 |
| 22. 受け入れ側・支援側での業務内容の事前取り決め | |
| 23. 避難所の地理的情報・経路情報共有 | |
| 24. 要援護者の種別や人数情報共有 | |
| 25. 派遣される職員の滞在場所の事前取り決め | |
| 26. 協定そのものがない | |
| 27. その他 () | |

質問 21 貴自治体と協定機関との間における課題は、どのようなものだったでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

選択肢は、質問 20 と同一です。

質問 22 貴自治体内には指定福祉避難所は何か所ございますか。 _____ か所

質問 23 福祉避難所に関する周知方法について、当てはまるものをすべてお選びください。

(複数回答可)

- | | | | | |
|-----------|---------|------------|--------|----------------|
| 1. テレビ | 2. 新聞 | 3. ラジオ | 4. 回覧板 | 5. 広報誌（市町村便り等） |
| 6. ホームページ | 7. チラシ等 | 8. その他 () | | |

質問 24 全住民のどの程度の人たちが福祉避難所の場所を知っていると感じられますか。

当てはまるものを1つお選びください。

1. 2割未満 2. 2割～4割未満 3. 4割～6割未満 4. 6割～8割未満 5. 8割～

質問 25 ピーク時の避難所数（把握されているもので結構です。）

質問 25-1 ピーク時の避難所のうち、福祉避難所数（把握されているもので結構です。）

質問 26 ピーク時の避難者数（把握されているもので結構です。）

質問 26-1 ピーク時の避難者のうち、要援護者の方の数（把握されているもので結構です。）

IV.震災前後の自治体防災対策について

質問 27 貴自治体で対策本部を設置するまでに要した大まかな時間をご記入ください。設置をしていない場合は、無回答のまま次の質問にお進みください。 分程度

質問 28 貴自治体庁舎全体規模での防災訓練の頻度は、年何回程度でしょうか。大まかな回数をご記入ください。 年 回程度

質問 28-1 訓練への参加者は、どのような方々だったでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。（複数回答可）

1.福祉関係部局 2.災害・防災等関連局 3.自治会・町内会 4.要援護者（家族含む）
5.消防署 6.社会福祉協議会 7.民生委員 8.児童相談員 9.ケアマネジャー
10.医療機関職員 11.他の自治体 12.地元の消防団等 13.ボランティア団体
14.地域包括支援センター 15.警察 16.関連団体 17.未実施のため該当なし 18.その他

質問 29 貴自治体では、平時より自治会・町内会等への訓練参加の呼びかけ等はございましたか。当てはまるほうをお選びください。 1.あった 2.なかった

質問 30 今回の震災時の対応について、貴自治体で要援護者の支援を中心に、課題があると思われる点について、当てはまるものをすべてお選びください。（複数選択可）

1.対策本部と出先機関等との役割分担と情報共有 2.各担当部局間の役割分担と情報共有
3.現場への権限移譲 4.内部関係者間の連絡方法 5.出先機関、各担当部局からの情報収集
6.避難所からの情報収集 7.避難所からのニーズ吸い上げ 8.避難所への巡回 9.要援護者の誘導
10.要援護者支援班の設置 11.避難場所・経路の確認 12.要援護者の対象基準決定
13.要援護者リストの作成 14.要援護者の安否確認方法 15.要援護者リストの取扱
16.要援護者の避難支援者の確保 17.自治会・町内会との連絡 18.民生委員等との連絡
19.緊急連絡網の整備 20.職員の参集 21.職員の不足 22.職員間の役割分担
23.職員の安否確認 24.職員の過労 25.職員の健康状態悪化 26.無線等の連絡手段の確認・確保
27.在宅要援護者の把握 28.都道府県庁との連絡 29.医療機関との連絡
30.福祉施設等との連絡 31.情報把握の方法 32.緊急通報システム動作確認
33.心のケア体制整備 34.ボランティアの受け入れ 35.感染症対策
36.マスコミ対策 37.救援物資の仕分け配送 38.食糧確保体制
39.飲料水確保体制 40.非常用電源の確認・復旧 41.重要データのバックアップ
42.ガスコンロ等の確保体制 43.医薬品の配送環境整備 44.燃料確保体制
45.日用品（マスク・消毒液等）の確保体制 46.その他（ ）

質問 31 貴自治体では、**震災前の段階で**、震災直後および復興期にかけての経営計画（BCP）を策定されておられましたか。当てはまるものを1つお選びください。

- | | | |
|---------------|-----------------|-------------|
| 1. 十分整備されていた | 2. ある程度整備されていた | 3. 震災後に十分整備 |
| 4. 震災後にある程度整備 | 5. 震災後も整備されていない | |

V. 震災後の他自治体からの職員の支援受け入れと派遣実態

質問 32 貴自治体では、他の自治体との間で支援受け入れはございましたか。

当てはまるものを1つお選びください。 1. あった（質問 32-1～5 へ） 2. なかった

質問 32-1 支援を受け入れた際、もともとの職員数の何%程度の方が支援に来られましたか。

大まかなものでも結構ですので、**ピーク時の値**をご記入ください。 _____ %程度

質問 32-2 最初に受け入れられたのは、何日目でしょうか。ご記入をお願いいたします。（ここでは3月11日を1日目としていただくよう、お願いいたします。）

受け入れ _____ 日目

質問 32-3 受け入れ元は、どこでしたか。当てはまるものをすべてお選びください。

- | | | |
|--------------------|-------------------|---------|
| 1. 都道府県内の他自治体 | 2. 隣接している都道府県の自治体 | (複数選択可) |
| 3. 隣接していない都道府県の自治体 | 4. その他 () | |

質問 32-4 支援を受け入れていた期間は、どのくらいだったでしょうか。 _____ 日間

質問 32-5 望ましい支援期間はどのくらいとお考えでしょうか。 _____ 日間

質問 33 貴自治体では、他の自治体への**職員の派遣**はございましたか。

当てはまるものを1つお選びください 1. あった（質問 33-1～5 へ） 2. なかった

質問 33-1 派遣された際、もともとの職員数の何%程度の方が支援に来られましたか。

大まかなものでも結構ですので、**ピーク時の値**をご記入ください。 _____ %程度

質問 33-2 最初に派遣されたのは、何日目でしょうか。ご記入をお願いいたします。（ここでは3月11日を1日目としていただくよう、お願いいたします。）

_____ 日目

質問 33-3 派遣先は、どこでしたか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 都道府県内の他自治体 | 2. 隣接している都道府県の自治体 |
| 3. 隣接していない都道府県の自治体 | 4. その他 () |

質問 33-4 派遣されていた期間は、どのくらいだったでしょうか。 _____ 日間

質問 33-5 望ましい派遣期間は、どのくらいとお考えでしょうか。 _____ 日間

VI.今後の震災時における要望

質問 34 貴自治体の体験から、今後必要と考える災害時における要援護者・職員の支援体制構築のために必要な取り組み等について、当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1. 食糧・飲料水の備蓄の増分 | 2. ライフライン被害想定・対応体制整備 |
| 3. 食糧・飲料水確保方法確認 | 4. 食糧・飲料水の集積場の確保 |
| 5. 食糧・飲料水の配送人員体制の確立 | 6. 医薬品確保方法確認 |
| 8. 医薬品の配送人員体制の確立 | 9. 燃料確保方法確認 |
| 11. 日用品（マスク・消毒液等）の確保方法確認 | 12. 非常用電源の確認・復旧対応体制整備 |
| 13. 庁舎建物の被害想定・被害対応体制整備（免震・耐震） | 14. 衛星回線利用の通信手段の複数確保 |
| 15. 衛星回線電話等の非常用機器の使用法研修 | 16. 休日・夜間震災時の訓練 |
| 17. 情報把握の方法確認 | 18. 緊急連絡網の整備 |
| 20. 緊急通報システムの動作確認・復旧対応体制整備 | 21. 避難場所・経路の確認 |
| 22. 要援護者対応が可能な職員の人材育成 | 23. 避難所での活動に関する研修・教育 |
| 24. 要援護者の避難支援者の確保 | 25. 避難所への巡回体制の確立 |
| 27. 要援護者リスト作成、リスト外の要援護者の把握 | 28. 感染症対策 |
| 29. マスコミ対策 | 30. 一般の避難所と福祉避難所の機能分担 |
| 31. 公共施設の（福祉）避難所としての運用 | |
| 32. 民間施設（空きホテル等）の（福祉）避難所としての運用 | |
| 33. 人的被害想定・対応体制整備 | 34. 心のケア体制確立 |
| 36. ボランティアの受け入れ・派遣方針決定 | 37. ハザードマップ作成 |
| 38. 重要データのバックアップ | 39. データサーバーの遠隔地保有 |
| 40. 通信機器の高層階への移動や設置 | 41. 医療機関との連絡体制確保 |
| 42. 介護保険施設との連絡体制確保 | 43. 高層建築物の沿岸部への設置、増設、改築等 |
| 44. 帰宅困難者への対応訓練 | 45. その他（ ） |

質問 35 貴自治体の体験から、今後必要と考える災害時における要援護者・職員支援のための連携体制構築に必要な取り組みについて、当てはまるものをすべてお選びください。

(複数選択可)

- | | | |
|---|--------------------|----------------|
| 1. 食糧供給の優先的補完関係締結 | 2. 飲料水供給の優先的補完関係締結 | |
| 3. 燃料のガソリンスタンド等との優先的供給の協定締結 | | |
| 4. 医薬品供給の優先的補完関係締結 | | |
| 5. 日用品（マスク・消毒液等）供給の優先的補完関係締結 | | |
| 6. 介護保険サービス利用者移転時の負担に関する取り決め | | |
| 7. 相互の業務ごとの情報窓口の統一化体制確立 | | |
| 8. 双方間の連絡方法・無線等の備品の確認・確保 | | |
| 9. 平時からの自治体内の介護サービス事業所との震災対応に関する情報交換と連携 | | |
| 10. 平時からの自治体内の介護保険施設との震災対応に関する情報交換と連携 | | |
| 11. 平時からの自治体内の医療機関との震災対応に関する情報交換と連携 | | |
| 12. 平時からの自治体外の医療機関との震災対応に関する情報交換と連携 | | |
| 13. 平時からの地域包括支援センターとの情報交換と連携 | | |
| 14. 平時からの自治会・町内会との震災対応に関する情報交換と連携 | | |
| 15. 平時からの他の自治体との震災対応に関する情報交換と連携 | | |
| 16. 医療支援チーム（DMAT, JMAT 等）の受け入れ方針統一 | | |
| 17. 医療ボランティアの受け入れ方針統一 | | |
| 18. 要援護者リスト、リスト外の要援護者情報共有 | | |
| 19. 衛星回線利用の通信手段の複数確保 | | |
| 20. 組織内部関係部署間の ICT を用いた情報ネットワーク体制確立 | | |
| 21. 非常用電源の確保 | 22. 外部からの支援職員受け入れ | 23. 外部への支援職員派遣 |
| 24. 受け入れ側・支援側での業務内容の事前取り決め | | |
| 25. 避難所の地理的情報・経路情報共有 | 26. 要援護者の種別や人数情報共有 | |
| 27. 派遣される職員の滞在場所の事前取り決め | 28. その他（ ） | |

質問 36 自由記述です。今回の震災を受けて、貴自治体で要援護者・職員の支援体制、連携体制構築について、うまくいった点やご苦労された点等について、何でも結構ですので、何かございましたらご記入ください。

○本調査は、厚生労働省「平成 24 年度セーフティネット支援対策等事業費補助金（社会福祉推進事業分）」調査研究（調査担当責任者：関田康慶 東北福祉大学 健康科学部 医療経営管理学科 教授）の一環で実施されています。

ご多用のところ、ご協力いただき、ありがとうございました。

整理番号

--	--	--	--	--	--

東日本大震災後の要援護者の行動実態と支援実態に関する調査

(本調査は、厚生労働省平成 24 年度セーフティネット支援対策事業費補助金・社会福祉推進事業分に基づいて、東北福祉大学が関係者のご協力を得て実施しています)

この調査は、東日本大震災の被災地に現在どのような課題があるのかを明らかにし、これからの地域づくりの参考となる資料を作成することを目的に実施するものです。

なお、調査結果は今後の地域福祉活動に活用され、その目的以外に使用されることはありません。何かとご多用のところとは存じますが、調査の趣旨をおくみ取りいただき、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

(1) 要援護者の属性について

問1 **県名**のあてはまる番号に○印で囲み、**市町村名**を、解答欄にご記入ください。

(被災時の居住地でお答えください)

1.岩手県 2.宮城県 3.福島県 市町村名 ()

問2 **性別**の**番号**を選び○をつけてください。

1. 男 2. 女

問3 **年齢**を、解答欄にご記入ください。

(2011 年 3 月 11 日現在)

年齢

問4 **職業または元の職業**の代表的なものを一つ、解答欄にご記入ください。

1. 農業 2. 漁業水産業 3. 商業 4. 団体職員 5. 通信運搬運送業
6. 製造業 7. 建設業 8. 公務員 9. 教育従事者 10. 宗教関係従事者
11. 社会福祉関係従事者 12. 医療関係従事者 13. 無職 14. その他 ()

職業

問5 要援護者の**家族形態**についてあてはまる**番号**を、解答欄にご記入ください。

1. 高齢者単身世帯 2. 高齢者夫婦世帯 3. 高齢者と親族の世帯
4. その他高齢者のみ世帯 5. 高齢者を含めた三世代世帯
6. 母子父子世帯 7. 障害者単身世帯 8. 障害者とその配偶者の世帯
9. その他障害者を含めた世帯 10. その他の世帯

家族形態

問6 該当する介護度に○をつけてください。(2011年3月11日現在)

1. 申請中 2. 要支援1 3. 要支援2 4. 要介護1 5. 要介護2 6. 要介護3
7. 要介護4 8. 要介護5 9. 非該当

問7 障害者手帳等交付の有無に関して、該当するものに○をつけてください。

(2011年3月11日現在)

1. 身体障害者手帳 2. 精神障害者手帳 3. 療育手帳
4. 特定疾病指定・身体障害者手帳 5. 所持していない

問8 日常生活自立度に関して、該当するものに○をつけてください。

(2011年3月11日現在)

1) 身体

1. J1 2. J2 3. A1 4. A2 5. B1 6. B2 7. C1 8. C2 9. 非該当

2) 認知

1. 自立 2. I 3. II a 4. II b 5. III 6. IV 7. M

問9 受診の有無に✓点を記入し、受診がある場合には病名または診断名を解答欄にご記入ください。(2011年3月11日現在)

☐	受診 有 →
☐	受診 無

病名または診断名

(2) 要援護者の被災状況について

問10 地震による被害について、該当する欄に✓点をご記入ください。

☐	全壊
☐	半壊

☐	ほとんど被災せず
☐	被災なし

問11 津波による被害について、該当する欄に✓点をご記入ください。

☐	全壊
☐	半壊

☐	床上浸水
☐	床下浸水
☐	被災なし

問 12 原子力発電所事故による被災状況について、該当する欄全てに✓点をご記入ください。

☐	人的被害があった……	{	☐	要介護者が出た
			☐	けが人が出た
			☐	病人が出た
☐	職場を失った	{	☐	自宅
☐	資産を失った……………		☐	家畜
			☐	農地山林
			☐	その他（
☐	被災しなかった			

問 13 その他被災状況について、該当する欄全てに $\checkmark$ 点をご記入ください。

☐	人的被害があった……	{	☐	要介護者が出た
			☐	けが人が出た
			☐	病人が出た
☐	職場を失った	{	☐	車両
☐	資産を失った……………		☐	船舶
			☐	店
			☐	田畑(海水で使用できなくなった)
☐	その他 ()			
☐	被災しなかった			

(3) 震災前の見守りの状況

問 14 震災前の近隣住民等による見守り活動の実施状況の該当番号を、解答欄にご記入ください。(複数回答可)

- 1.対話訪問 2.声がけの訪問 3.室内灯や新聞受けなどの観察
4.配食サービスの利用 5.電話をかける 6.緊急通報システム
7.その他（ ） 8.見守りはしていない

見守り活動内容	

問 15 震災前の福祉サービスの利用について、利用の有無を回答頂き、利用していた場合は、該当番号の内容に、ひと月の利用回数を、回答欄にご記入ください。（サービス内容 その他には記載以外の福祉サービスをご記入願います。

- | | |
|----------------|---|
| ・サービス内容（高齢） | 無 |
| ・サービス内容(障害・児童) | 無 |
| ・サービス内容（その他） | 無 |

サービス内容(高齢)	利用	9.重度障害者等包括支援	回/月
1.訪問介護(ホームヘルプサービス)	回/月	10.共同生活介護(ケアホーム)	回/月
2.訪問入浴介護	回/月	11.施設入所支援	回/月
3.訪問リハビリテーション	回/月	12.自立訓練(機能訓練)	回/月
4.訪問看護	回/月	13.自立訓練(生活訓練)	回/月
5.居宅療養管理指導	回/月	14.宿泊型自立訓練	回/月
6.通所介護(デイサービス)	回/月	15.就労移行支援	回/月
7.通所リハビリテーション(デイケア)	回/月	16.就労継続支援A型(雇用型)	回/月
8.短期入所生活介護(ショートステイ)	回/月	17.就労継続支援B型(非雇用型)	回/月
9.短期入所療養介護(医療型ショートステイ)	回/月	18.地域活動支援センター	回/月
10.特定施設入居者生活介護	回/月	19.共同生活援助(グループホーム)	回/月
11.介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	回/月	21.乳児院	回/月
12.介護療養型医療施設	回/月	22.母子生活支援施設	回/月
13.介護老人保健施設	回/月	22.保育所	回/月
14.認知症対応型通所介護	回/月	23.児童厚生施設	回/月
15.認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	回/月	24.児童養護施設	回/月
16.小規模多機能型居宅介護	回/月	25.知的障害児施設	回/月
17.夜間対応型訪問介護	回/月	26.知的障害児通園施設	回/月
18.地域密着型特定施設入居者生活介護	回/月	27.盲ろうあ児施設	回/月
19.地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	回/月	28.肢体不自由児施設	回/月
20.定期巡回・随時対応型訪問介護看護	回/月	29.重症心身障害児施設	回/月
サービス内容(障害・児童)	利用	30.情緒障害児短期治療施設	回/月
1.居宅介護	回/月	31.児童自立支援施設	回/月
2.重度訪問介護	回/月	32.児童家庭支援センター	回/月
3.同行援護	回/月	サービス内容(その他)	利用
4.行動援護	回/月	1.成年後見制度	回/月
5.療養介護	回/月	2.日常生活自立支援事業	回/月
6.生活介護	回/月	3.生活保護	回/月
7.児童デイサービス	回/月	4.	回/月
8.短期入所(ショートステイ)	回/月	5.	回/月

(4) 震災後の要援護者の行動と支援内容について

問 16 震災発生後に要援護者が避難した場所と移動手段等について、該当する□に✓点をご記入ください。また、右隣の欄にはそれぞれの滞り場所からの移動の有無、その間の要援護者の状況についてご記入ください。

1 災害発生～3日まで

1) 避難地場所への移動手段

- ☐ 徒歩
- ☐ 手引き誘導
- ☐ 車いす介助
- ☐ ストレッチャー介助・担架を使用
- ☐ その他 ()
- ☐ 移動しなかった

滞在場所	自宅から移動 1 避難所	1.した 2 近所の家	2.しなかった 3 その他()
要援護者の状況： 1) 身体 1. J 1 2. J 2 3. A 1 4. A 2 5. B 1 6. B 2 7. C 1 8. C 2 9. 非該当 2) 認知 1. 自立 2. I 3. II a 4. II b 5. III 6. IV 7. M			

2) 移動の際の支援者（複数回答可）

- ☐ 家族・親戚 ☐ 近所の知り合い ☐ 福祉の専門職 ☐ 医療職
- ☐ 消防団 ☐ 自衛隊 ☐ ボランティア ☐ その他

3) なぜ移動が必要でしたか（複数回答可）

- ☐ 状態が悪化しそうだった ☐ 本人が情緒的に不安定だった
- ☐ 介護スペースの確保が必要だった ☐ 衛生状態が悪くなかった
- ☐ 介護自体できない状態だった ☐ 必要な介護用品が調達できなかった
- ☐ その他

4) 必要性は誰から伝えられましたか（複数回答可）

- ☐ 本人からの要望 ☐ 家族等からの要望 ☐ 避難所関係者からの要望
- ☐ 福祉職から勧められた ☐ 医療職から勧められた ☐ 消防団から言われた
- ☐ ボランティアから言われた ☐ 行政担当者から言われた ☐ その他

5) 移動した結果はどうでしたか。①～③毎にそれぞれ一つ回答してください。

- ①情緒面 1.良くなった 2.まあ良くなった 3.変わらない 4.あまり良くない 5.悪い
- ②身体面 1.良くなった 2.まあ良くなった 3.変わらない 4.あまり良くない 5.悪い
- ③今後の方針 1.このままでよい 2.当面はこのまま 3.次の場所を探す 4.早速移動

2 災害発生4日目から1週間

滞在場所 1.自宅 2.避難所 3.病院

1) 避難地場所への移動手段

- ☐ 徒歩
☐ 手引き誘導
☐ 車いす介助
☐ ストレッチャー介助・担架を使用
☐ その他 ()
☐ 移動しなかった

滞在場所から	移動 1.した 2.しなかった 1 避難所 2 福祉避難所 3 病院
要援護者の状況： 1) 身体 1. J1 2. J2 3. A1 4. A2 5. B1 6. B2 7. C1 8. C2 9. 非該当 2) 認知 1. 自立 2. I 3. II a 4. II b 5. III 6. IV 7. M 3) 要介護度 1. 申請中 2. 要支援1 3. 要支援2 4. 要介護1 5. 要介護2 6. 要介護3 7. 要介護4 8. 要介護5 9. 非該当	

2) 移動の際の支援者（複数回答可）

- ☐ 家族・親戚 ☐ 近所の知り合い ☐ 福祉の専門職 ☐ 医療職
☐ 消防団 ☐ 自衛隊 ☐ ボランティア ☐ その他

3) なぜ移動が必要でしたか（複数回答可）

- ☐ 状態が悪化しそうだった ☐ 本人が情緒的に不安定だった
☐ 介護スペースの確保が必要だった ☐ 衛生状態が良くなかった
☐ 介護自体できない状態だった ☐ 必要な介護用品が調達できなかった
☐ その他

4) 必要性は誰から伝えられましたか（複数回答可）

- ☐ 本人からの要望 ☐ 家族等からの要望 ☐ 避難所関係者からの要望
☐ 福祉職から勧められた ☐ 医療職から勧められた ☐ 消防団から言われた
☐ ボランティアから言われた ☐ 行政担当者から言われた ☐ その他

5) 移動した結果はどうでしたか。①～③毎にそれぞれ一つ回答してください。

- ①情緒面 1.良くなった 2.まあ良くなった 3.変わらない 4.あまり良くない 5.悪い
 ②身体面 1.良くなった 2.まあ良くなった 3.変わらない 4.あまり良くない 5.悪い
 ③今後の方針 1.このままでよい 2.当面はこのまま 3.次の場所を探す 4.早速移動

3 災害発生1週間から1か月

滞在場所 1.自宅 2.避難所 3.病院

1) 避難地場所への移動手段

- ☐ 徒歩
☐ 手引き誘導
☐ 車いす介助
☐ ストレッチャー介助・担架を使用
☐ その他 ()
☐ 移動しなかった

滞在場所から	移動 1.した 2.しなかった 1 福祉避難所 2 病院 3.福祉施設
要援護者の状況：	
1) 身体	
1. J 1 2. J 2 3. A1 4. A2 5. B1 6. B2 7. C1 8. C2 9. 非該当	
2) 認知	
1. 自立 2. I 3. II a 4. II b 5. III 6. IV 7. M	
3)要介護度	
1. 申請中 2. 要支援 1 3. 要支援 2 4. 要介護 1 5. 要介護 2 6. 要介護 3 7. 要介護 4 8. 要介護 5 9. 非該当	

2)移動の際の支援者（複数回答可）

- ☐ 家族・親戚 ☐ 近所の知り合い ☐ 福祉の専門職 ☐ 医療職
☐ 消防団 ☐ 自衛隊 ☐ ボランティア ☐ その他

3)なぜ移動が必要でしたか（複数回答可）

- ☐ 状態が悪化しそうだった ☐ 本人が情緒的に不安定だった
☐ 介護スペースの確保が必要だった ☐ 衛生状態が良くなかった
☐ 介護自体できない状態だった ☐ 必要な介護用品が調達できなかった
☐ その他

4)必要性は誰から伝えられましたか（複数回答可）

- ☐ 本人からの要望 ☐ 家族等からの要望 ☐ 避難所関係者からの要望
☐ 福祉職から勧められた ☐ 医療職から勧められた ☐ 消防団から言われた
☐ ボランティアから言われた ☐ 行政担当者から言われた ☐ その他

5)移動した結果はどうでしたか。①～③毎にそれぞれ一つ回答してください。

- ①情緒面 1.良くなった 2.まあ良くなった 3.変わらない 4.あまり良くない 5.悪い
 ②身体面 1.良くなった 2.まあ良くなった 3.変わらない 4.あまり良くない 5.悪い
 ③今後の方針 1.このままでよい 2.当面はこのまま 3.次の場所を探す 4.早速移動

3 災害発生1か月から3か月

滞在場所 1.避難所 2.病院 3.福祉施設

1) 避難地場所への移動手段

- ☐ 徒歩
☐ 手引き誘導
☐ 車いす介助
☐ ストレッチャー介助・担架を使用
☐ その他 ()
☐ 移動しなかった

滞在場所から	移動 1.した 2.しなかった 1 福祉避難所 2 病院 3.福祉施設
要援護者の状況： 1) 身体 1. J 1 2. J 2 3. A 1 4. A 2 5. B 1 6. B 2 7. C 1 8. C 2 9. 非該当 2) 認知 1. 自立 2. I 3. II a 4. II b 5. III 6. IV 7. M 3) 要介護度 1. 申請中 2. 要支援 1 3. 要支援 2 4. 要介護 1 5. 要介護 2 6. 要介護 3 7. 要介護 4 8. 要介護 5 9. 非該当	

2) 移動の際の支援者（複数回答可）

- ☐ 家族・親戚 ☐ 近所の知り合い ☐ 福祉の専門職 ☐ 医療職
☐ 消防団 ☐ 自衛隊 ☐ ボランティア ☐ その他

3) なぜ移動が必要でしたか（複数回答可）

- ☐ 状態が悪化しそうだった ☐ 本人が情緒的に不安定だった
☐ 介護スペースの確保が必要だった ☐ 衛生状態が良くなかった
☐ 介護自体できない状態だった ☐ 必要な介護用品が調達できなかった
☐ その他

4) 必要性は誰から伝えられましたか（複数回答可）

- ☐ 本人からの要望 ☐ 家族等からの要望 ☐ 避難所関係者からの要望
☐ 福祉職から勧められた ☐ 医療職から勧められた ☐ 消防団から言われた
☐ ボランティアから言われた ☐ 行政担当者から言われた ☐ その他

5) 移動した結果はどうでしたか。①～③毎にそれぞれ一つ回答してください。

- ①情緒面 1.良くなった 2.まあ良くなった 3.変わらない 4.あまり良くない 5.悪い
 ②身体面 1.良くなった 2.まあ良くなった 3.変わらない 4.あまり良くない 5.悪い
 ③今後の方針 1.このままでよい 2.当面はこのまま 3.次の場所を探す 4.早速移動

※ここからは、支援に携わった専門職(社会福祉士等)のご意見をご記入願います。

(5) 震災後の要援護者支援の内容、および問題点・評価される点について

問 17 震災発生後の要援護者支援の内容について、該当する□に✓点をご記入ください。また、右隣の欄にはそれぞれの避難場所に滞在していた期間、その間の要援護者支援の課題・評価される点についてご記入ください。

1 災害発生から 3 日 (複数回答可)

1) 支援活動の内容

- ☐ 応急の物資提供 (食料)
☐ 応急の物資提供 (食料以外)
☐ 応急の物資提供 (依頼)
☐ 応急のケアサービス
☐ 応急のケアサービス (依頼)
☐ 搬送
☐ 搬送 (依頼)
☐ 安否確認
☐ 安否確認(依頼)
☐ その他 ()

滞在場所	移動 1 した 2 しなかった 1 福祉避難所 2 病院 3 福祉施設
要援護者支援の課題・評価される点： 1. よく対応できたと思う 2. まあまあ対応できたと思う 3. どちらとも言えない 4. あまり十分な対応はできなかった 5. 全く納得のいく対応ができなかった (具体的な評価内容を記載してください)	

2) 要援護者支援体制の課題について、当てはまる事項の□に✓点をご記入ください。

- ☐ 避難できる移動先の情報が不足している
☐ 移動の際の手段や担当者が不明である
☐ 要援護者全体の安否確認結果が不明確である
☐ 要援護者の所在が確認できない
☐ どの避難所に要援護者の誰が避難しているか確認できない
☐ 要援護者の情報をどこから入手できるかわからない
☐ その他 ()

3) 要援護者の状態確認の課題について、当てはまる事項の□に✓点をご記入ください。

- ☐ 状態確認を誰が行い、行った結果を誰が保管し、どのように活用するか不明である
☐ 状態確認結果に基づいた判断を誰が行うのか不明である
☐ 状態確認を行っても、どんどん変化していくので判断が困難である
☐ その他 ()

4)対応する際の連携上の課題について、当てはまる事項の□に✓点をご記入ください。

- ☐ 医療機関との連携を図るための窓口がどこか分からなかった
- ☐ 搬送可能な医療機関の情報がなかった
- ☐ 医療機関に搬送するための手段の確保が困難だった
- ☐ 保健師が行ったスクリーニング情報があると対応が容易だったと思う
- ☐ 搬送可能な福祉施設の情報がなかった
- ☐ 福祉施設に搬送するための手段の確保が困難だった
- ☐ 福祉施設等の専門職の支援が欲しかった
- ☐ 要援護者の搬送等に消防や自衛隊の支援が欲しかった
- ☐ その他 ()

2 災害発生4日から1週間（複数回答可）

滞在場所 1.自宅 2.避難所

1) 支援活動の内容

- ☐ 応急の物資提供（食料）
- ☐ 応急の物資提供（食料以外）
- ☐ 応急の物資提供（依頼）
- ☐ 応急のケアサービス
- ☐ 応急のケアサービス（依頼）
- ☐ 搬送
- ☐ 搬送（依頼）
- ☐ 安否確認
- ☐ 安否確認(依頼)
- ☐ その他 ()

滞在場所	移動 1 した 2 しなかった 1 福祉避難所 2 病院 3 福祉施設
要援護者支援の課題・評価される点： 6. よく対応できたと思う 7. まあまあ対応できたと思う 8. どちらとも言えない 9. あまり十分な対応はできなかった 10. 全く納得のいく対応ができなかった （具体的な評価内容を記載してください）	

2)要援護者支援体制の課題について、当てはまる事項の□に✓点をご記入ください。

- ☐ 避難できる移動先の情報が不足している
- ☐ 移動の際の手段や担当者が不明である
- ☐ 要援護者全体の安否確認結果が不明確である
- ☐ 要援護者の所在が確認できない
- ☐ どの避難所に要援護者の誰が避難しているか確認できない
- ☐ 要援護者の情報をどこから入手できるのかわからない
- ☐ その他 ()

3)要援護者の状態確認の課題について、当てはまる事項の ☐ に✓点をご記入ください。

- ☐ 状態確認を誰が行い、行った結果を誰が保管し、どのように活用するか不明である
- ☐ 状態確認結果に基づいた判断を誰が行うのか不明である
- ☐ 状態確認を行っても、どんどん変化していくので判断が困難である
- ☐ その他 ()

4)対応する際の連携上の課題について、当てはまる事項の ☐ に✓点をご記入ください。

- ☐ 医療機関との連携を図るための窓口がどこか分からなかった
- ☐ 搬送可能な医療機関の情報がなかった
- ☐ 医療機関に搬送するための手段の確保が困難だった
- ☐ 保健師が行ったスクリーニング情報がある则対応が容易だったと思う
- ☐ 搬送可能な福祉施設の情報がなかった
- ☐ 福祉施設に搬送するための手段の確保が困難だった
- ☐ 福祉施設等の専門職の支援が欲しかった
- ☐ 要援護者の搬送等に消防や自衛隊の支援が欲しかった
- ☐ ボランティア派遣のコーディネート体制が欲しかった
- ☐ その他 ()

3 災害発生1週間から1か月（複数回答可）

滞在场所 1.自宅 2.避難所 3.病院

1) 支援活動の内容

- ☐ 応急の物資提供（食料）
- ☐ 応急の物資提供（食料以外）
- ☐ 応急の物資提供（依頼）
- ☐ 応急のケアサービス
- ☐ 応急のケアサービス（依頼）
- ☐ 搬送
- ☐ 搬送（依頼）
- ☐ 安否確認
- ☐ 安否確認(依頼)
- ☐ その他 ()

滞 在 場 所	移動	1 した	2 しなかった
		1 福祉避難所	2 病院 3 福祉施設
要援護者支援の課題・評価される点： 11. よく対応できたと思う 12. まあまあ対応できたと思う 13. どちらとも言えない 14. あまり十分な対応はできなかった 15. 全く納得のいく対応ができなかった （具体的な評価内容を記載してください）			

- ☐ 避難できる移動先の情報が不足している
- ☐ 移動の際の手段や担当者が不明である
- ☐ 要援護者全体の安否確認結果が不明確である
- ☐ 要援護者の所在が確認できない
- ☐ どの避難所に要援護者の誰が避難しているか確認できない
- ☐ 要援護者の情報をどこから入手できるのかわからない
- ☐ その他（

3)要援護者の状態確認の課題について、当てはまる事項の□に✓点をご記入ください。

- ☐ 状態確認を誰が行い、行った結果を誰が保管し、どのように活用するのか不明である
- ☐ 状態確認結果に基づいた判断を誰が行うのか不明である
- ☐ 状態確認を行っても、どんどん変化していくので判断が困難である
- ☐ その他（ ）

4)対応する際の連携上の課題について、当てはまる事項の□に✓点をご記入ください。

- ☐ 医療機関との連携を図るための窓口がどこか分からなかった
- ☐ 搬送可能な医療機関の情報がなかった
- ☐ 医療機関に搬送するための手段の確保が困難だった
- ☐ 保健師が行ったスクリーニング情報があるに対応が容易だったと思う
- ☐ 搬送可能な福祉施設の情報がなかった
- ☐ 福祉施設に搬送するための手段の確保が困難だった
- ☐ 福祉施設等の専門職の支援が欲しかった
- ☐ 要援護者の搬送等に消防や自衛隊の支援が欲しかった
- ☐ ボランティア派遣のコーディネート体制が欲しかった
- ☐ その他（

4 災害発生1か月から3か月（複数回答可）

滞在場所 1.自宅 2.避難所 3.病院

1) 支援活動の内容

- ☐ 応急の物資提供（食料）
☐ 応急の物資提供（食料以外）
☐ 応急の物資提供（依頼）
☐ 応急のケアサービス
☐ 応急のケアサービス（依頼）
☐ 搬送
☐ 搬送（依頼）
☐ 安否確認
☐ 安否確認(依頼)
☐ その他（ ）

滞在 場所	移動 1 した 2 しなかった 1 福祉避難所 2 病院 3 福祉施設
要援護者支援の課題・評価される点： 16. よく対応できたと思う 17. まあまあ対応できたと思う 18. どちらとも言えない 19. あまり十分な対応はできなかった 20. 全く納得のいく対応ができなかった （具体的な評価内容を記載してください）	

2)要援護者支援体制の課題について、当てはまる事項の☐に✓点をご記入ください。

- ☐ 避難できる移動先の情報が不足している
☐ 移動の際の手段や担当者が不明である
☐ 要援護者全体の安否確認結果が不明確である
☐ 要援護者の所在が確認できない
☐ どの避難所に要援護者の誰が避難しているか確認できない
☐ 要援護者の情報をどこから入手できるかわからない
☐ その他（ ）

3)要援護者の状態確認の課題について、当てはまる事項の☐に✓点をご記入ください。

- ☐ 状態確認を誰が行い、行った結果を誰が保管し、どのように活用するか不明である
☐ 状態確認結果に基づいた判断を誰が行うのか不明である
☐ 状態確認を行っても、どんどん変化していくので判断が困難である
☐ その他（ ）

4)対応する際の連携上の課題について、当てはまる事項の□に✔点をご記入ください。

- ☐ 医療機関との連携を図るための窓口がどこか分からなかった
- ☐ 搬送可能な医療機関の情報がなかった
- ☐ 医療機関に搬送するための手段の確保が困難だった
- ☐ 保健師が行ったスクリーニング情報があるに対応が容易だったと思う
- ☐ 搬送可能な福祉施設の情報がなかった
- ☐ 福祉施設に搬送するための手段の確保が困難だった
- ☐ 福祉施設等の専門職の支援が欲しかった
- ☐ 要援護者の搬送等に消防や自衛隊の支援が欲しかった
- ☐ ボランティア派遣のコーディネート体制が欲しかった
- ☐ その他（

問18 支援全体を通じて、良かった点や反省すべき点についてご記入ください。

良かった点：

反省すべき点：

問 19 震災後の要援護者のサポートネットワーク(エコマップ)をご記入ください。

要援護者

(6) 今後の要援護者支援体制や政策への要望について

問 20 今後の要援護者への支援体制や政策について、要望やご意見をご記入ください。

1, サービスに関する事項

2, 専門職チーム派遣に関する事項

3, 支援体制（施設や機関）に関する事項

4, 法令（災害救助法等）に関する事項

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

東日本大震災後の要援護者の行動実態と支援実態に関する実態調査
居宅介護支援事業所と地域包括支援センターを対象とした
インタビュー調査

貴事業所名：_____

ご担当者様指名：_____

Tel: _____

Fax: _____

E-mail: _____

I.事業所属性

質問 1 貴事業所または貴センターの当てはまる方をお選びください。

1.居宅介護支援事業所（質問 1-1、2 へ） 2. 地域包括支援センター（質問 1-2 へ）

質問 1-1 貴事業所の現在の利用者のうち要介護度 3 以上の方の大まかな割合 _____ %

質問 1-2 一番遠いところに居住している利用者宅までの距離をご記入ください。 約 _____ km

質問 2 貴事業所または貴センターの開設主体をお選びください。

1.社会福祉法人 2. 営利法人 3. NPO 法人 4. 自治体 5.社会福祉協議会 6. その他

質問 3 貴事業所または貴センターの事業年数(例：7 年 3 カ月→8 年目) _____ 年目

質問 4 貴事業所または貴センターの所在する都道府県 1. 岩手県 2. 宮城県 3. 福島県

質問 5 貴事業所の所在する（2011 年 3 月 11 日時点）市町村の人口のうち、当てはまるものを 1 つお選びください。

1. 5 千人未満 2. 5 千人以上 1 万人未満 3. 1 万人以上 2 万人未満
4. 2 万人以上 3 万人未満 5. 3 万人以上 5 万人未満 6. 5 万人以上 10 万人未満
7. 10 万人以上 20 万人未満 8. 20 万人以上 50 万人未満 9. 50 万人以上

質問 6 貴事業所または貴センターの震災直前に登録していた利用者の実人数 _____ 人

II.要援護者と職員の被災状況と対応

……本調査でいう、要援護者とは、貴事業所内外を問わず、高齢者世帯、要介護者、障害者、難病患者、妊婦、5 歳未満の乳幼児、日本語に不慣れな外国人等、災害時に 1 人で避難が難しい住民を指します。

質問 7 貴事業所または貴センターでは 3 月 11 日以降において、東日本大震災による建物の被害はございましたか。当てはまる方をお選びください。 1.あり（質問 6-1 へ） 2.なし

質問 7-1 貴事業所または貴センターの建物の被害状況について、当てはまるものをすべてお選びください。（複数回答可）

1.全壊 2.大規模半壊 3.半壊 4.一部損壊 5.その他（ ）

質問 8 貴事業所または貴センターでは 3 月 11 日夕方時点において、津波による被害はございましたか。当てはまる方をお選びください。 1.あり（質問 8-1 へ） 2. なし

質問 8-1 貴事業所または貴センターの建物の被害状況について、当てはまるものをすべてお選びください。（複数回答可）

1.全壊 2.大規模半壊 3.半壊 4.一部損壊 5.床上浸水 6.床下浸水

質問 9 震災から半年程度経過後の段階における、貴事業所または貴センターの利用者の方の被災状況について、わかる範囲で構いませんので、当てはまるものをすべて選び、それぞれの人数をご記入ください。（複数回答可）

1. 負傷（ ）人 2. 全体的な健康状態悪化（ ）人 3. 病気の罹患（ ）人
4. 病気の悪化（ ）人 5. 要介護度悪化（ ）人 6.行方不明（ ）人 7.関連死（ ）人
8. 特になかった 9. その他（ ）（ ）人 ※人数は、実人数でお願いいたします

質問 10 貴事業所または貴センターの**職員の方で**、震災から半年後程度の段階での被災状況について、わかる範囲で構いませんので、当てはまるものをすべて選び、それぞれの人数をご記入ください。(複数回答可)

- | | | |
|------------------------|--------------------------|-------------------|
| 1. 負傷 (人) | 2. 全体的な健康状態悪化 (人) | 3. 病気の罹患 (人) |
| 4. 病気の悪化 (人) | 5. 行方不明 (人) | 6. 関連死 (人) |
| 7. その他 () (人) | ※人数は、実人数でお願いいたします | |

質問 11 貴事業所または貴センターでは、東日本大震災の影響によるライフラインの何らかの損傷はございましたか。当てはまる方をお選びください。 1. あった (質問 11-1~4 へ) 2. なかった

質問 11-1 貴事業所または貴センターでは、何日目に外部から食糧や飲料水供給がございましたか。(ここでは、3 月 11 日を 1 日目としていただくよう、お願いいたします。) 日目

質問 11-2 貴事業所または貴センターでは、何日目に電気が復旧されましたか。 日目

質問 11-3 貴事業所または貴センターでは、何日目にガスが復旧されましたか。 日目

質問 11-4 貴事業所または貴センターでは、何日目に水道が復旧されましたか。
(上水、下水のうち、遅かった方のご記入をお願いいたします) 日目

質問 12 貴事業所または貴センターでは、実際に何日分の食糧と水分の備蓄がございましたか。
また、今回と同等の災害が生じた場合、貴施設では何日分あれば必要最小限とお考えでしょうか。ご記入をお願いいたします。

食糧 実際 日分 理想 日分 **飲料水** 実際 日分 理想 日分

質問 13 貴事業所または貴センターでは、**震災後 1 週間以内に**、どのような要援護者に対して安否確認や心身状態の把握等の見守り活動をされましたか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数選択可)

- | |
|---|
| 1. 貴事業所または貴センターの利用者 (質問 13-1、2 へ) |
| 2. 貴事業所または貴センターの利用者自宅近隣の方 (質問 13-1、2 へ) |
| 3. 貴事業所または貴センター近隣在住の方 (質問 13-1、2 へ) |
| 4. 避難所の方 (質問 13-1、2 へ) 5. 未実施 6. その他 () |

質問 13-1 貴事業所または貴センターが上記のような活動をされるなかで、課題と感じられたことは何でしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。また、特に重要と感じられる課題を 3 つ選び、◎をおつけください。(複数選択可)

- | | | |
|----------------------------------|-----------------|-------------------|
| 1. 地域の要援護者のリスト | 2. 要援護者の安否確認の方法 | 3. 避難所の情報 |
| 4. 要援護者の食糧不足 | 5. 要援護者の水分不足 | 6. 電力関連 |
| 7. ガス関連 | 8. 水道関連 | 9. 通信網関連 |
| 10. 燃料関連 | 11. 要援護者の病状悪化 | 12. 要援護者の感染症 |
| 13. 要援護者の運動不足 | 14. 要援護者の要介護度悪化 | 15. 要援護者の健康状態悪化 |
| 16. 内部の連絡体制 | 17. 外部との連絡体制 | 18. 職員の不足 |
| 19. 職員の過労 | 20. 職員の健康状態の悪化 | 21. 自治体担当者の質 |
| 22. 提供されているサービスと要援護者のニーズのミスマッチ | 23. 優先車両としての扱い | 24. 要援護者の医療機関への移送 |
| 25. 要援護者の福祉施設への移送 | 26. 福祉施設の情報 | 27. 医療機関の情報 |
| 28. その他 () | | |

質問 13-1 で 3 つの課題を選んだ理由

質問 13-2 貴事業所または貴センターでは、どのようにして上記のような問題を解決・克服されましたか。当てはまるものをすべてお選びください。また、特に成果をあげた取り組みを 3 つお選び、◎をおつけください。(複数回答可)

- | | | |
|----------------------|--------------------------|-----------------|
| 1.他事業所等からの食糧調達 | 2.他事業所等からの飲料水調達 | 3.他事業所等への職員派遣依頼 |
| 4.他施設・事業所等への利用者移送依頼 | 5.医療機関への利用者移送依頼 | |
| 6.食糧の4日以上の備蓄 | 7.飲料水の4日以上の備蓄 | 8.衛星回線経由の無線等確保 |
| 9.発電機の購入 | 10.情報担当窓口の統一化 | 11.心のケア体制確立 |
| 12.ICTを活用した要援護者情報の保存 | 13.ガソリンスタンド等と優先供給の事前協定締結 | |
| 14.貴事業所等の活動内容等の記録 | 15.他事業所等との情報交換 | 16.医療機関との情報交換 |
| 17.自治体との情報交換 | 18.自治会・町内会等との情報交換 | 19.その他 () |

質問 13-2 で 3 つの項目を実施する上での工夫や苦労された点

Ⅲ.震災対応の連携支援体制と実態

質問 14 **震災前に**貴事業所または貴センター内で「緊急時の対応について」のマニュアルは整備されておられましたか。当てはまるものを1つお選びください。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 十分整備されていた(質問 14-1、2 へ) | 2. ある程度整備されていた(質問 14-1、2 へ) |
| 3. 整備されていなかった | |

質問 14-1 マニュアルに記載されていた内容は、どのようなものでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- | | | | |
|---------------------------|--------------------------|-----------------|-----------|
| 1.事業所・センター内の役割分担 | 2.内部関係者間の連絡方法 | 3.安否確認方法 | 4.情報把握の方法 |
| 5.他の施設・病院・事業所との緊急時の対応確認方法 | 6.自治体との緊急時の対応確認方法 | | |
| 7. 周辺住民の要援護者の受け入れ | 8. 無線等の連絡手段の確認・確保 | | |
| 9. 情報システム動作確認 | 10. 緊急連絡網の整備 | 11. 情報発信内容 | |
| 12. 利用者への対応 | 13.利用者の移送 | 14.職員招集方法 | |
| 15. 職員不足への対応 | 16. 介護機器等の動作確認 | 15. 介護機器損傷への対応 | |
| 16. 避難場所・経路の確認 | 17. ボランティアの受け入れ | 18. 感染症対策 | |
| 19. 経管栄養剤の確保 | 20. 食糧確保の方法 | 21. 水確保の方法 | |
| 22. 電源確保の方法 | 23. 医薬品の確保方法 | 24. ガスコンロ等の確保方法 | |
| 25. 燃料確保方法 | 26. 日用品(マスク・消毒液・おむつ等)の確保 | | |
| 27. BCP※への対応 | 28. その他() | | |

※BCP=Business Continuity Plan (事業継続計画)

質問 14-2 マニュアルに記載されていたが、うまく対応できなかった、あるいは課題があったと思われる項目は、どのようなものでしょうか。当てはまるものをすべてお選びください。また、特に重要な項目について、3つ選び◎をお付けください。

(複数回答可)

- | | | | |
|---------------------------|--------------------------|-----------------|-----------|
| 1.事業所・センター内の役割分担 | 2.内部関係者間の連絡方法 | 3.安否確認方法 | 4.情報把握の方法 |
| 5.他の施設・病院・事業所との緊急時の対応確認方法 | 6.自治体との緊急時の対応確認方法 | | |
| 7. 周辺住民の要援護者の受け入れ | 8. 無線等の連絡手段の確認・確保 | | |
| 9. 情報システム動作確認 | 10. 緊急連絡網の整備 | 11. 情報発信内容 | |
| 12. 利用者への対応 | 13.利用者の移送 | 14.職員招集方法 | |
| 15. 職員不足への対応 | 16. 介護機器等の動作確認 | 15. 介護機器損傷への対応 | |
| 16. 避難場所・経路の確認 | 17. ボランティアの受け入れ | 18. 感染症対策 | |
| 19. 経管栄養剤の確保 | 20. 食糧確保の方法 | 21. 水確保の方法 | |
| 22. 電源確保の方法 | 23. 医薬品の確保方法 | 24. ガスコンロ等の確保方法 | |
| 25. 燃料確保方法 | 26. 日用品(マスク・消毒液・おむつ等)の確保 | | |
| 27. BCP への対応 | 28. その他() | | |

※BCP=Business Continuity Plan (事業継続計画)

質問 14・2 で 3 つの項目を選んだ理由

質問 15 貴事業所または貴センターでは、平時より周辺他施設等、自治会・町内会等との情報交換等ございましたか。当てはまるほうをお選びください。

1. あった 2. なかった

あった場合→どのような情報でしたか？

なかった場合→それによって生じた課題等

IV.今後の要援護者支援体制や要望

質問 16 貴事業所または貴センターの体験から、今後必要と考える災害時における要援護者・職員の支援体制構築のために必要な取り組みについて、当てはまるものをすべてお選びください。また、特に重要と考える取り組みについて3つ選択し、◎をお付けください。

(複数選択可)

- | | | |
|------------------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 食糧・飲料水の備蓄の増分 | 2. ライフライン被害想定・対応体制整備 | 3. 食糧確保方法確認 |
| 4. 飲料水確保方法確認 | 5. 燃料確保体制整備 | 6. 非常用電源の確認・復旧対応体制整備 |
| 7. 受水槽・井戸等の整備 | 8. 経管栄養剤の確保方法確認 | 9. 建物の被害想定・被害対応体制整備 |
| 10. 日用品（マスク・消毒液・おむつ等）の確保方法確認 | 11. 担当責任者の決定 | |
| 12. 事業所またはセンター内組織の構築 | 13. 衛星回線利用の通信手段確保 | 14. 情報把握の方法確認 |
| 15. 緊急連絡網の整備 | 16. 情報担当窓口の統一 | 17. ICTを活用した利用者情報の保存 |
| 18. 情報システムの動作確認・復旧対応体制整備 | 19. 要援護者リスト作成 | |
| 21. 要援護者への安否確認方法の決定 | 22. 利用者の移送方法確認 | 23. 職員の安否確認 |
| 24. 地域内の福祉避難所の把握 | 25. 避難場所・経路の確認 | 26. 避難所への巡回 |
| 27. 在宅要援護者の把握 | 28. 感染症対策 | 29. 心のケア体制確立 |
| 30. 事業所またはセンターの人的被害想定・対応体制整備 | 31. BCPの策定 | |
| 32. ボランティアの受け入れ方針決定 | 33. 電気orハイブリッド車購入 | 34. その他() |

※BCP=Business Continuity Plan（事業継続計画）

質問 16 で3つの項目を選んだ理由

質問 17 貴事業所または貴センターの体験から、今後必要と考える災害時における連携体制構築のために必要な取り組みについて、当てはまるものをすべてお選びください。また、特に重要と考える取り組みについて 3 つ選び、◎をお付けください。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------|
| 1. 平時からの病院との緊急時の対応の取り決め | |
| 2. 平時からの地元開業医との緊急時の対応の取り決め | |
| 3. 平時からの周辺施設・事業所との緊急時の対応取り決め | |
| 4. 平時からの他の地域包括支援センターとの緊急時の対応取り決め | |
| 5. 平時からのボランティア団体との緊急時の対応取り決め | |
| 6. 平時からの自治会・町内会との緊急時の対応取り決め | |
| 7. 平時からの自治体との緊急時の対応取り決め | |
| 8. 平時からの消防署との緊急時の対応取り決め | |
| 9. 利用者診療情報の連携施設・病院との共有 | |
| 10. 周辺施設・事業所との緊急時の担当地区分担 | |
| 11. 他の地域包括支援センターとの緊急時の担当地区分担 | |
| 12. 周辺施設・事業所との要援護者リスト作成・共有 | |
| 13. 自治体との要援護者リスト作成・共有 | 14. 自治会・町内会との要援護者リストの作成・共有 |
| 15. 民生委員との要援護者リストの作成・共有 | 16. 経管栄養剤供給の優先的補完関係締結 |
| 17. 食糧供給の優先的補完関係締結 | 18. 飲料水供給の優先的補完関係締結 |
| 19. 日用品（マスク・消毒液・おむつ等）供給の優先的補完関係締結 | |
| 20. 燃料供給の優先的補完関係締結 | 21. その他（ ） |

質問 17 で 3 つの項目を選んだ理由

○本調査は、厚生労働省「平成 24 年度セーフティネット支援対策等事業費補助金(社会福祉推進事業分)」調査責任者:関田康慶 東北福祉大学健康科学部教授の一環で実施されています。

ご多用のところ、ご協力いただき、ありがとうございました。